magicolor 1650EN
ユーザーズガイド

A034-9571-13K

はじめに

弊社プリンターをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 1650EN は、Windows、Macintosh 等の環境でお使いいただくのに最適なプリンターです。

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンターに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。

6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。
Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

DIC 標準色プロファイル使用許諾契約

本使用許諾契約（以下本契約といいます）をよくお読み下さい。本契約は、お客様（個人、法人の別を問いません）と日本国法人 DIC 株式会社（以下 DIC といいます）との間に締結される法的な契約です。お客様が本契約の条項に同意されない場合には、DIC 標準色プロファイル（以下総称してプロファイルといいます；DIC Standard SFC_AM2.0、DIC Standard SFM_AM2.0、DIC Standard SFU_AM2.0、DIC Standard SFC_FM2.0、DIC Wakimizu SFC_AM2.0、DIC Wakimizu SFC_FM2.0、DIC ABILIO SFC_AM1.0、DIC Hy-Bryte SFC_AM1.0、DIC Standard WebC_AM2.1、DIC Standard WebC_FM2.1、DIC NewsColor_AM1.0、DIC NewsColor_FM1.0）を一切使用することはできません。

1. 使用許諾

DIC は、お客様に対して、本契約の各条項に定める条件に従ったプロファイルの使用のみを無償にて許諾します。プロファイルに関する商標権、著作権等その他の知的財産権を含む権利は DIC に留保され、その利用を許諾するものではありません。

2. 使用方法およびその制限

本契約により、お客様は、プリンタにインストール済みのプロファイルを使用することができます。また、お客様は、プリンタまたはプリンタ用オプションであるハードディスクドライブのいずれか一台にプロファイルをインストールし、かつ使用することができます。

お客様は、プロファイルの全部またはその一部を、複製、解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、変換、翻訳、再使用許諾、譲渡、貸与、リース、頒布等をすることはできません。また、お客様は、プロファイルの類似品を製作し、または何らかのソフトウェアを改良するために、プロファイルを利用することはできません。

プロファイルは、人身損害、重大な物理的損害または環境上の損害をもたらす可能性のある用途に使用されることを意図するものではないことをお客様は承認するとともに、このような用途にプロファイルを使用しません。

DIC は、お客様が本契約の各条項のいずれか 1 つにでも違反した場合、本契約を通知なく、お客様が違反した時点に遡って解除することができるものとします。この場合には、お客様は、速やかにプロファイルを全て破棄しなければなりません。

3. 不保証

DIC は、お客様がプロファイルを無償で使用されることに鑑み、明示または黙示を問わず、プロファイルの商品価値および使用可能性、特定目的に対する適合性、ならびに第三者の権利侵害を侵害しないこと等その他一切の保証を行うことなく、プロファイルをお客様に提供します。これらについての一切のリスクはお客様のご負担とさせていただきます。DIC は、プロファイル

に欠陥または瑕疵が発見された場合であっても、有償または無償を問わず、これらの欠陥または瑕疵の修正、修復を保証するものではありません。

4. 免責

過失を含むいかなる場合であっても、DIC は、プロファイルに起因する、または関連する付随的、特別もしくは間接損害、または逸失利益の賠償責任等その他一切の責任を負いません。たとえ、DIC が、これらの損害の可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

5. 残存条項

第 3 条（不保証）および第 4 条（免責）の規定は、第 2 条（使用方法およびその制限）に基づき本契約が解除され、お客様がプロファイルを全て破棄された後もなお有効に存続するものとします。

6. 準拠法、契約の分離性および管轄裁判所

本契約は、日本の法律に準拠し、同法律に従って解釈されます。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項は依然として完全な効力を有するものとします。また、本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

7. 完全な合意

本契約は、プロファイルの使用について、お客様と DIC の取り決めのすべてを記載するものです。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンターの電源を入れるようにしてください。

■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

複製禁止事項

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。
本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。

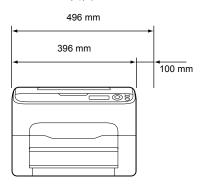
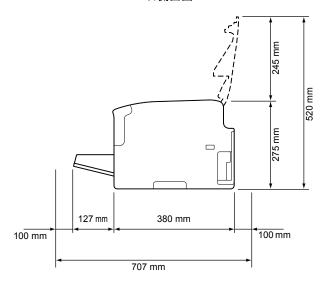
もくじ

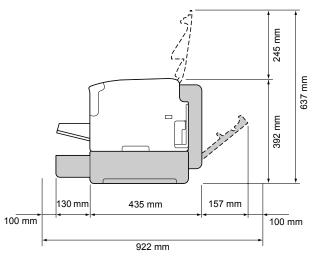
1 はじめに

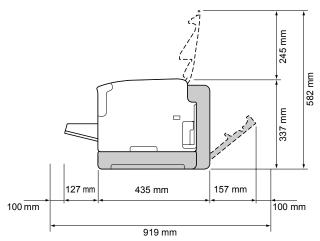
お使いになる前に

設置スペース

プリンター操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

正面図

右側面図

右側面図（オプション装着時）

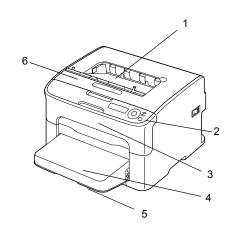
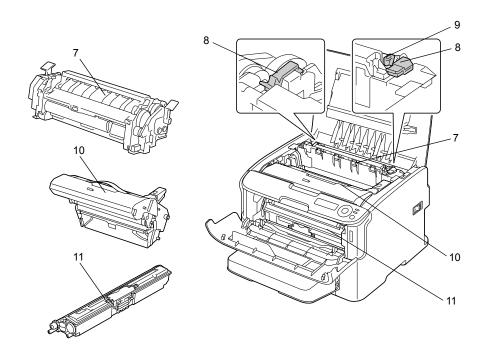
トレイ 2 と両面プリントユニットを装着している場合

上記イラストの網掛け部はオプションです。

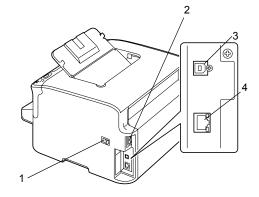
アタッチメントと両面プリントユニットを装着している場合

上記イラストの網掛け部はオプションです。

各部の名称

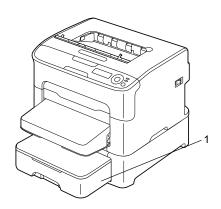
以下の図は、本書で使用しているプリンター各部の名称を示しています。

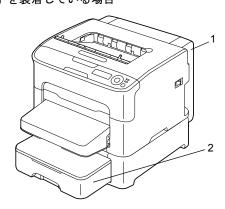
前面

1　排紙トレイ
2　操作パネル
3　前カバー
4　ダストカバー
5　トレイ 1
　（多目的トレイ）
6　上カバー
7　定着ユニット
8　定着離間レバー
9　定着カバーレバー
10　イメージングカート
　リッジ
11　トナーカートリッジ

背面

1　電源スイッチ
2　電源インレット
3　USB ポート
4　10Base-T/100Base-TX イーサネット（Ethernet）インターフェースポート

前面（オプション装着時）

- トレイ 2 を装着している場合

1　給紙ユニット（トレイ 2）

- トレイ 2 と両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット
2　給紙ユニット（トレイ 2）

- アタッチメントと両面プリントユニットを装着している場合

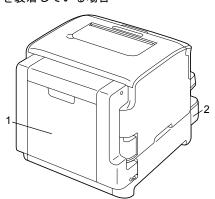
1　両面プリントユニット

2　アタッチメント

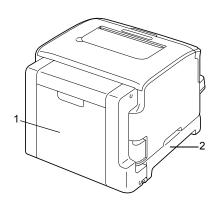
背面（オプション装着時）

- トレイ 2 と両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット

2　給紙ユニット（トレイ 2）

- アタッチメントと両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット

2　アタッチメント

2 ソフトウェアについて

Printer Driver CD-ROM について

PostScript ドライバー

<table>
<tr><th>プリンタードライバー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003/2000</td><td rowspan="2">プリンターのさまざまな機能を設定できます。
詳しくは、「プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）」（p.38）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>Windows 7/Server 2008 R2/Server 2008/Vista/XP/Server 2003 for 64bit</td></tr>
</table>

PCL ドライバー

<table>
<tr><th>プリンタードライバー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003/2000</td><td rowspan="2">プリンターのさまざまな機能を設定できます。
詳しくは、「プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）」（p.38）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>Windows 7/Server 2008 R2/Server 2008/Vista/XP/Server 2003 for 64bit</td></tr>
</table>

PPD ファイル

<table>
<tr><th>プリンタードライバー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Macintosh OS X (10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6)</td><td rowspan="2">各 OS のプリンタードライバーを使用する場合に必要です。
Macintosh 用の PPD ファイルについては、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>Macintosh OS X Server (10.2/10.3/10.4/10.5/10.6)</td></tr>
</table>

Windows 各 OS のプリンタードライバーのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

Utilities and Documentation CD-ROM について

ユーティリティー

ユーティリティー	機能
Status Monitor （Windows のみ）	消耗品の状況やエラー情報など、現在のプリンターのステータスを確認できます。 詳しくは、「Status Monitor（Windows）の使いかた」（p.73）をごらんください。
PageScope Net Care Device Manager	ステータス監視、ネットワーク設定などのプリンター管理機能にアクセスできます。 詳しくは、「PageScope Net Care Device Manager ユーザーズガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Network Setup	TCP/IP、IPX プロトコルを使用して、ネットワークプリンターの基本設定を行うことができます。 詳しくは、「PageScope Network Setup 取扱説明書」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Plug and Print	ネットワークに新しく接続したプリンターを検知し、Windows プリントサーバー上にプリントオブジェクトを自動的に作成します。 詳しくは、「PageScope Plug and Print Quick Guide（英語）」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

ユーティリティー	機能
PageScope NDPS Gateway	NDPS 環境でプリンターおよびコニカミノルタ製複合機を使用するためのネットワークユーティリティーです。 詳しくは、「PageScope NDPS Gateway 取扱説明書」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Direct Print	PDF ファイルや TIFF ファイルを直接プリンターに送信して印刷する機能を持つアプリケーションです。 詳しくは、「PageScope Direct Print 取扱説明書」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

マニュアル

インストレーションガイド	本機の設置やプリンタードライバーのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
ユーザーズガイド（本書）	プリンタードライバーの使いかたや消耗品の交換方法、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般について説明しています。
リファレンスガイド	Macintosh ドライバーのインストール、ネットワークの設定、プリンター管理ユーティリティーなど、より詳細な設定について説明しています。
サービス＆サポートガイド	ユーザー登録やご質問、ご相談の問い合わせ先など、製品サポートとサービスに関する情報が記載されています。

必要なシステム

■ コンピューター：
– Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨)
– PowerPC G3 以降を搭載した Macintosh（G4 以降を推奨）
– Intel プロセッサを搭載した Macintosh

■ オペレーティングシステム：
– 32bit
Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）
– 64bit
Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

64bit ドライバーは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。

– Mac OS X 10.2.8 以降、Mac OS X Server 10.2.8 以降（いずれも最新のパッチの適用を推奨）

Macintosh のプリンタードライバーについては、「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

■ 空きハードディスク容量：
– 約 20 MB（プリンタードライバーとステータスモニター）
– 約 128 MB（画像処理）

■ メモリ：
OS が推奨する以上の RAM

■ CD-ROM/DVD ドライブ

■ インターフェース：
– 10Base-T/100Base-TX イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
– USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート

プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）

本プリンターを使い始める前に、プリンタードライバーの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタードライバーでそのオプションを設定しておいてください。

Windows のプリンタードライバーのインストールについては「インストレーションガイド」をごらんください。
Macintosh のプリンタードライバーのインストールについては「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

Windows 7/Server 2008 R2/Server 2008/Vista/XP/Server 2003/2000

1 以下の手順でプリンタードライバーの設定画面を表示します。

– Windows 7/Server 2008 R2 の場合

［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA mc1650 PS 」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6 」プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

– Windows Server 2008/Vista の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「ハードウェアとサウンド」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc1650 PS 」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6 」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「装置情報」タブをクリックします。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［情報の更新］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

［情報の更新］は本プリンターとの双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［情報の更新］が使用できない場合は、手順 6、7 を行ってください。Windows 7/Server 2008 R2/Vista/Server 2008 をお使いの場合は、USB 接続でも［情報の更新］が使用できます。

6 「装置オプション」リストから、オプションを一つずつ選択して、「設定値の変更」メニューから「あり」または、「なし」を選択します。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、[適用] をクリックします。

8 「初期設定」タブをクリックします。

PS ドライバー

PCL ドライバー

9 必要な項目を設定し、[適用] をクリックします。

– 禁則発生時に確認メッセージを表示する：
  チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。
– サーバープロパティ用紙を使用する：
  チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンターで利用可能なサイズが基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。
– メタファイル (EMF) スプールを行う（PCL ドライバーのみ）：
  独自のシステムで使用する場合などでメタファイル（EMF) スプールが必要な場合にチェックします。
– カスタム用紙の登録（PCL ドライバーのみ）：
  カスタム用紙を登録すると、登録した名称で基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

10 「全般」タブをクリックします。

11 [印刷設定] をクリックします。
印刷設定画面が表示されます。

12 使用する用紙の種類やサイズなど、プリンターの初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「PostScript ドライバーの設定」（p.39)、「PCL ドライバーの設定」（p.56）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、[適用] をクリックします。

14 [OK] をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15 [OK] をクリックし、プリンターの設定画面を閉じます。

プリンタードライバーのアンインストール（Windows）

プリンタードライバーのアンインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

Windows 7/Server 2008 R2/Server 2008/Vista を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

ここでは、プリンタードライバーをアンインストールする場合の手順について説明します。

1 以下の手順でアンインストールプログラムを起動します。

- **Windows 7/Server 2008 R2/Server 2008/Vista/XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 1650」—「プリンタ ドライバの削除」をクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 1650」—「プリンタ ドライバの削除」をクリックします。

2 削除するドライバ名を選択し、［削除］をクリックします。

3 ［削除］をクリックします。

4 ［OK］をクリックしてコンピューターを再起動します。

プリンタードライバーがコンピューターからアンインストールされます。

プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）

Windows 7/Server 2008 R2

1 ［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2 「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows Server 2008/Vista

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「ハードウェアとサウンド」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

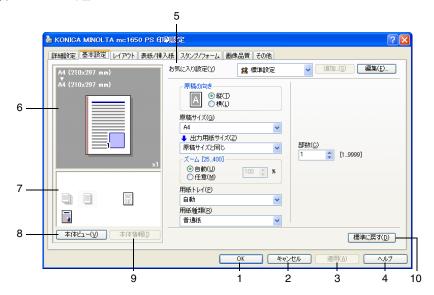
2 「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc1650 PS」または「KONICA MINOLTA mc1650 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

PostScript ドライバーの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. お気に入り設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［追加］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は「共有」チェックボックスにチェックします。［OK］をクリックすると現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

［編集］をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。
また、設定情報を設定ファイル（拡張子：KSF）として保存したり（エクスポート）、設定ファイルを読み込んで「お気に入り設定」に追加することもできます（インポート）。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。
また、あらかじめ登録されている設定を選択することもできます。
あらかじめ登録されている設定には、「2-up」、「写真調」、「モノクロ」があります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

6. メインビュー

印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、[本体ビュー] ボタンが表示されます。[本体ビュー] をクリックすると、プリンターの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。

プリンターの外観図が表示されている場合は、[用紙ビュー] ボタンが表示されます。[用紙ビュー] をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。

「画像品質」タブでは、[画像品質ビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [画像品質ビュー] をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

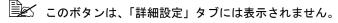
9. 本体情報

このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

10. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

「詳細設定」タブ

1. 詳細な印刷機能

詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。

本設定は、プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して表示するプロパティ画面で、「詳細設定」タブにある「詳細な印刷機能を有効にする」チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

2. PostScript オプション

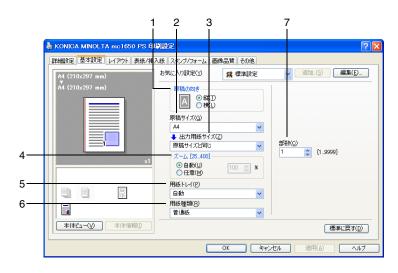
PostScript 出力オプション：PostScript ファイルの出力形式を設定します。

PostScript エラーハンドラを送信：PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。

左右反転印刷：左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。

3. PostScript Pass through

アプリケーションがプリンタードライバーを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタム」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタム」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。

印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

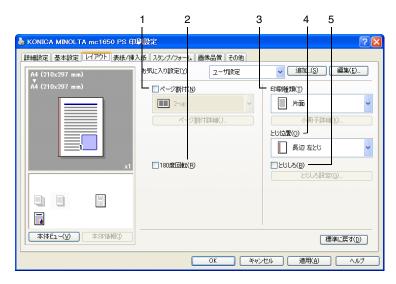
「自動」を選択すると、トレイ 2、トレイ 1 の優先順位で用紙を給紙します。

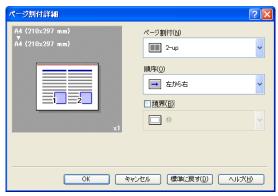
6. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

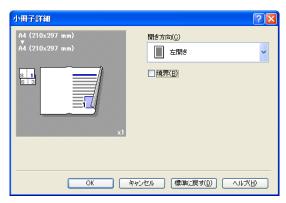
複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷するかどうかを設定します。
「ページ割付」チェックボックスをチェックすると、[ページ割付詳細] ボタンが有効になります。
[ページ割付詳細] をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 印刷種類

オプションの両面プリントユニットを装着している場合のみ、設定を変更できます。
この場合は、「片面」、「両面」、「小冊子」を選択できます。

「小冊子」は、「詳細設定」タブの「詳細な印刷機能」が「有効」に設定されている場合に有効です。

「小冊子」を選択した場合は、[小冊子詳細] ボタンが有効になります。[小冊子詳細] ボタンをクリックすると、小冊子詳細画面が表示されます。

小冊子詳細画面では、小冊子の開き方向と境界線の有無を設定できます。

4. とじ位置

とじ位置を「長辺左とじ」、「長辺右とじ」、「短辺上とじ」、「短辺下とじ」から選択して設定します。

用紙の向きにより、設定値は「長辺上とじ」、「長辺下とじ」、「短辺左とじ」、「短辺右とじ」となります。

5. とじしろ

とじしろの有無を設定します。
「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、[とじしろ設定] ボタンが有効になります。

［とじしろ設定］をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。

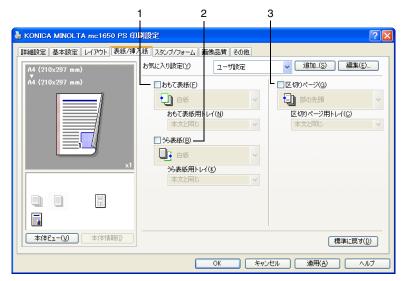
とじしろ設定画面では、シフトモードととじしろの幅を設定できます。

シフトモード：(「おもて面」、「うら面」で指定した）とじしろの幅に合わせて文書の位置をずらすときに、「平行移動」するか「自動縮小」するかを選択します。「平行移動」を選択すると、文書をそのままの大きさで印刷します。余白が少ない場合は、文書が用紙からはみだす可能性があります。「自動縮小」を選択すると、用紙からはみ出さないように文書を縮小して印刷します

おもて面、うら面：用紙の各面のとじしろの幅を設定します。とじしろの幅は、1 ミリ単位または、1/100 インチ単位で設定します。

おもて面とうら面を同じ値にする：おもて面とうら面で異なるとじしろの幅を設定する場合は、このチェックボックスのチェックを外します。

単位：「ミリメートル」または「インチ」を選択します。

「表紙 / 挿入紙」タブ

1. おもて表紙

おもて表紙をつけるかどうかを設定します。
おもて表紙をつける場合は、チェックボックスをチェックし、どのトレイの用紙を使用するかを選択します。

2. うら表紙

うら表紙をつけるかどうかを設定します。
うら表紙をつける場合は、チェックボックスをチェックし、どのトレイの用紙を使用するかを選択します。

3. 区切りページ

一部ごとに挿入紙を入れるかどうかを設定します。
挿入紙を入れる場合は、チェックボックスをチェックし、挿入紙を入れるタイミングとどのトレイの用紙を使用するかを選択します。

「スタンプ / フォーム」タブ

1. スタンプ

スタンプを入れるかどうかを設定します。
スタンプを使用すると、印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷できます。スタンプを入れる場合は、チェックボックスをチェックし、リストからスタンプを選択します。
［編集］をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。この画面では、新しいスタンプを追加したり、既存のスタンプを編集、削除できます。

新しいスタンプを作成する場合は、［追加］をクリックしてから、「スタンプ名」や「スタンプのテキスト」など、各設定項目を入力します。
［OK］をクリックすると、新しいスタンプが追加されます。
既存のスタンプを編集する場合は、リストからスタンプを選択し、任意の設定項目を変更します。
既存のスタンプを削除する場合は、リストからスタンプを選択し、［削除］をクリックします。

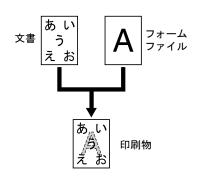
あらかじめ登録されているスタンプは、編集および削除できません。

■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

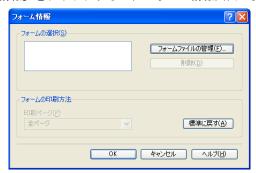
■ 1 ページ目のみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

2. フォーム印刷

フォーム印刷の設定を行います。フォーム印刷の機能を使用すると、印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷することができます。フォームを印刷する場合は、チェックボックスをチェックし、リストからフォームを選択します。

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

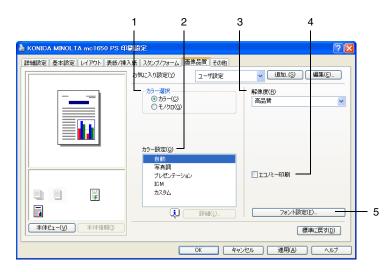
3. フォーム情報

［フォーム情報］をクリックすると、フォーム情報画面が表示されます。

「削除」をクリックすると、選択中のフォームを削除できます。
「印刷ページ」では、フォームを印刷するページを設定できます。

PostScript ドライバーでフォームを印刷する場合、あらかじめプリンターにフォームファイルをダウンロードしておく必要があります。詳しくはリファレンスガイド（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

［フォームファイルの管理］をクリックすると、フォームファイルの管理画面が表示されます。

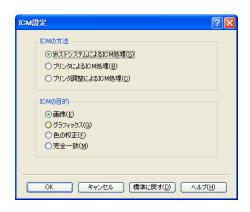
フォームファイルの管理画面では、新しいフォームファイルを追加したり、既存のフォームファイルを編集、削除できます。

「画像品質」タブ

1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロ (グレースケール）で印刷するかを設定します。

2. カラー設定

プリンターのカラー設定を「自動」、「写真調」、「プレゼンテーション」、「ICM」、「カスタム」から選択して設定します。
「写真調」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。
「ICM」を選択すると、Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。
「ICM」を選択した場合、［詳細］ボタンが有効になります。

［詳細］をクリックすると、ICM 設定画面が表示されます。ICM の印刷方法や、目的を設定します。

「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定や、プロファイルの管理ができます。

■ RGB カラー
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトに関してプリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトに関してプリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

- RGB グレー再現
  プリンターで処理するイメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのグレー再現に関して指定します。
- スクリーン
  イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。
- シミュレーションプロファイル
  インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用するシミュレーションプロファイルを指定します。
- 用紙下地色にあわせる
  シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。
- CMYK グレー再現
  シミュレーション実施時の CMYK 入力データ中の黒色とグレーの維持方法を指定します。
- プロファイルの管理
  「カラープロファイルの管理」ダイアログボックスを表示します。

3. 解像度

印刷時の解像度を設定します。

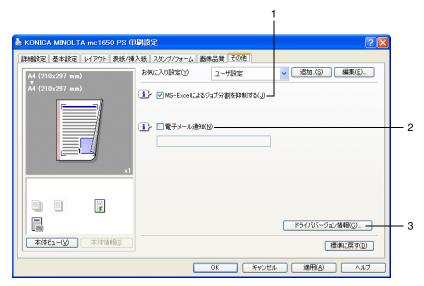
4. エコノミー印刷

チェックすると、エコノミー印刷機能が有効になります。これにより、トナーの消費を抑えて印刷することができます。

5. フォント設定

フォントについての設定をします。
［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、TrueType フォントをダウンロードする方法と、印刷時に TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えるかどうかを設定します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する

チェックすると、Microsoft Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、シート毎に別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制します。

2. 電子メール通知

チェックすると、印刷が正常終了したときに電子メールによる通知を行います。送信先のアドレスを設定する必要があります。

3. ドライババージョン情報

プリンタードライバーのバージョン情報を確認できます。

PCL ドライバーの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. お気に入り設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［追加］をクリックすると右の画面が表示されます。
名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は「共有」チェックボックスにチェックします。［OK］をクリックすると現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

［編集］をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。また、設定情報を設定ファイル（拡張子：KSF）として保存したり（エクスポート）、設定ファイルを読み込んで「お気に入り設定」に追加することもできます（インポート）。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。
また、あらかじめ登録されている設定を選択することもできます。
あらかじめ登録されている設定には、「2-up」、「写真調」、「モノクロ」があります。

6. メインビュー

印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンターの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンターの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

9. 本体情報

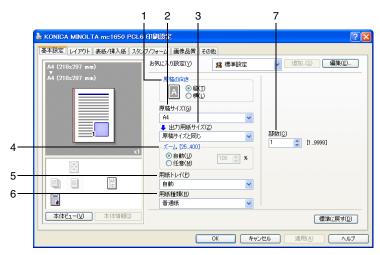
このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

10. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタム」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタム」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。

印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

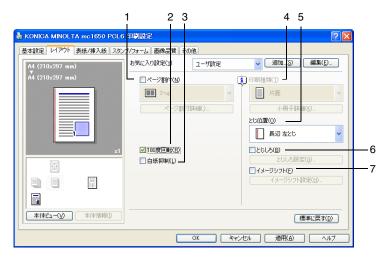
「自動」を選択すると、トレイ 2、トレイ 1 の優先順位で用紙を給紙します。

6. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷したり（ページ割付）、1 ページの文書を拡大して複数ページに印刷します（ポスター印刷）。
「ページ割付」チェックボックスをチェックすると、[ページ割付詳細] ボタンが有効になります。
[ページ割付詳細] をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。ページ割付の場合は、用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。ポスター印刷の場合は、のりしろ線の有無を選択します。

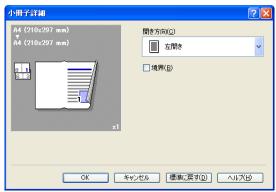
2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 白紙抑制

印刷する文書内に白紙がある場合、白紙を出力するかしないかを設定します。

4. 印刷種類

オプションの両面プリントユニットを装着している場合のみ、設定を変更できます。
この場合は、「片面」、「両面」、「小冊子」を選択できます。
「小冊子」を選択した場合は、[小冊子詳細] ボタンが有効になります。
[小冊子詳細] ボタンをクリックすると、小冊子詳細画面が表示されます。

小冊子詳細画面では、小冊子の開き方向と境界線の有無を設定できます。

5. とじ位置

とじ位置を「長辺左とじ」、「長辺右とじ」、「短辺上とじ」、「短辺下とじ」から選択して設定します。

用紙の向きにより、設定値は「長辺上とじ」、「長辺下とじ」、「短辺左とじ」、「短辺右とじ」となります。

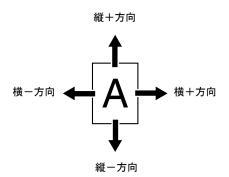
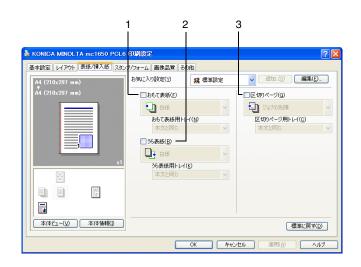
6. とじしろ

とじしろの有無を設定します。
「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、[とじしろ設定] ボタンが有効になります。
[とじしろ設定] をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。

とじしろ設定画面では、シフトモードととじしろの幅を設定できます。
シフトモード：（「おもて面」、「うら面」で指定した）とじしろの幅に合わせて文書の位置をずらすときに、「平行移動」するか「自動縮小」するかを選択します。「平行移動」を選択すると、文書をそのままの大きさで印刷します。余白が少ない場合は、文書が用紙からはみだす可能性があります。「自動縮小」を選択すると、用紙からはみ出さないように文書を縮小して印刷します
おもて面、うら面：用紙の各面のとじしろの幅を設定します。とじしろの幅は、1 ミリ単位または、1/100 インチ単位で設定します。
おもて面とうら面を同じ値にする：おもて面とうら面で異なるとじしろの幅を設定する場合は、このチェックボックスのチェックを外します。
単位：「ミリメートル」または「インチ」を選択します。

7. イメージシフト

用紙に印刷される文書の位置を設定します。
「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。
[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 1/10 ミリ単位または、1/100 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

「表紙 / 挿入紙」タブ

1. おもて表紙

おもて表紙をつけるかどうかを設定します。
おもて表紙をつける場合は、チェックボックスをチェックし、おもて表紙の印刷仕様とどのトレイの用紙を使用するかを選択します。

2. うら表紙

うら表紙をつけるかどうかを設定します。
うら表紙をつける場合は、チェックボックスをチェックし、うら表紙の印刷仕様とどのトレイの用紙を使用するかを選択します。

3. 区切りページ

区切りごとに挿入紙を入れるかどうかを設定します。
挿入紙を入れる場合は、チェックボックスをチェックし、挿入紙を入れるタイミングとどのトレイの用紙を使用するかを選択します。

「スタンプ / フォーム」タブ

1. スタンプ

スタンプを入れるかどうかを設定します。
スタンプを使用すると、印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷できます。スタンプを入れる場合は、チェックボックスをチェックし、リストからスタンプを選択します。
［編集］をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。この画面では、新しいスタンプを追加したり、既存のスタンプを編集、削除できます。

新しいスタンプを作成する場合は、［追加］をクリックしてから、「スタンプ名」や「スタンプのテキスト」など、各設定項目を入力します。
［OK］をクリックすると、新しいスタンプが追加されます。
既存のスタンプを編集する場合は、リストからスタンプを選択し、任意の設定項目を変更します。
既存のスタンプを削除する場合は、リストからスタンプを選択し、［削除］をクリックします。

あらかじめ登録されているスタンプは、編集および削除できません。

■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

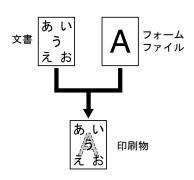
■ 1 ページ目のみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

2. フォーム作成

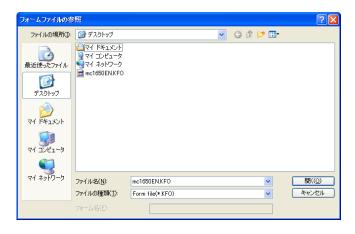
新しいフォームを作成するには、「フォーム作成」チェックボックスをチェックした状態で印刷設定画面を閉じ、印刷を実行します。この場合、実際の印刷は実行されず、印刷内容をフォームファイル（拡張子：KFO）として保存することができます。保存したフォームファイルは、フォームのリストに追加されます。

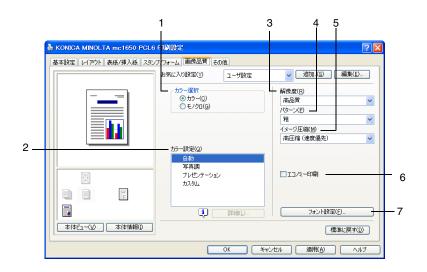
3. フォーム印刷

フォーム印刷の設定を行います。フォーム印刷の機能を使用すると、印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷することができます。フォームを印刷する場合は、「フォーム印刷」チェックボックスをチェックし、リストからフォームを選択します。

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

4. フォーム情報

［フォーム情報］をクリックすると、フォーム情報画面が表示されます。

［ファイル参照］をクリックすると、フォームファイルの参照画面でフォームファイルを選択してリストに追加することができます。

リストからフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。
また、「印刷ページ」ではフォームを印刷するページを、「重ね合わせ」ではフォームと印刷文書の重ね合わせ方法を設定できます。

「画像品質」タブ

1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロ (グレースケール）で印刷するかを設定します。

2. カラー設定

プリンターのカラー設定を「自動」、「写真調」、「プレゼンテーション」、「カスタム」から選択して設定します。
「写真調」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定ができます。

■ RGB カラー
プリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトに関してプリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現
プリンターで処理するイメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのグレー再現に関して指定します。

■ スクリーン
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

3. 解像度
印刷時の解像度を設定します。

4. パターン
パターンの密度を選択します。

5. イメージ圧縮
イメージ圧縮の方法で速度と品質のどちらを優先するかを選択します。

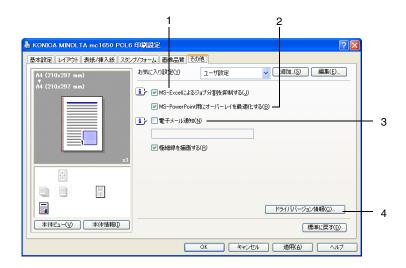
6. エコノミー印刷
チェックすると、エコノミー印刷機能が有効になります。これにより、トナーの消費を抑えて印刷することができます。

7. フォント設定

フォントについての設定をします。

［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、TrueType フォントをダウンロードする方法、印刷時に TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えるかどうか、TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える場合、どのプリンターフォントを使用するかを設定します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する
チェックすると、Microsoft Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、シート毎に別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制します。

2. MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する
チェックすると、背景が「白」の Microsoft PowerPoint 原稿に、プリンタードライバーのフォーム印刷機能を使用して印刷する場合に、PowerPoint 原稿の「白」でフォーム画像が上書きされないようにします。

3. 電子メール通知
チェックすると、印刷が正常終了したときに電子メールによる通知を行います。送信先のアドレスを設定する必要があります。

4. ドライババージョン情報
プリンタードライバーのバージョン情報を確認できます。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタードライバーの機能制限

以下のサーバーとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタードライバーで持つ機能が一部制限されます。

- サーバーとクライアントの組み合わせ
  サーバー　　　：Windows Server 2008 R2/Server 2008/Server 2003
  クライアント：Windows XP/2000/Vista/7
- 制限される機能
  「小冊子」、「白紙抑制」、「おもて表紙」、「うら表紙」、「区切りページ」、「フォーム作成」、「フォーム印刷」、「スタンプ」

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタードライバーをローカルでインストールし、接続先としてサーバーにインストールされている共有プリンターを指定してください。

Status Monitor（Windows）の使いかた

Status Monitor の使いかた

Status Monitor で、プリンターと接続しているコンピューターからプリンターの状態を確認できます。

Status Monitor は Utilities and Documentation CD-ROM からインストールできます。

インストール方法については、「インストレーションガイド」をごらんください。

環境

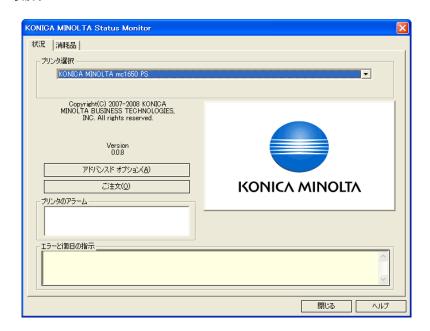
Status Monitor はイーサネットで接続された、Windows 7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003/2000 で使用できます。

Status Monitor を開く

以下の操作で Status Monitor を開きます。

- **Windows 7/Vista/Server 2008/XP/Server 2003 の場合**：[スタート] メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」を選択し、「Status Monitor」をクリックします。タスクバーに表示された Status Monitor アイコンをダブルクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：[スタート] メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」を選択し、「Status Monitor」をクリックします。タスクバーに表示された Status Monitor アイコンをダブルクリックします。

Status Monitor の使いかた

状況タブ

■ プリンタ選択 — ステータスを表示するプリンターを選択します。また、ステータスを表示しているプリンターのメッセージウィンドウのメッセージが表示されます。

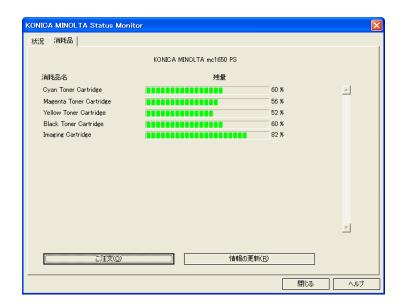
■ プリンターステータスのイメージ — 通常は KONICA MINOLTA ロゴが表示されます。エラーが発生した場合は、問題のある場所が示されます。プリンターの図が表示され、背景が赤色、または黄色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態です。

■ アドバンスドオプション —［アドバンスドオプション］をクリックすると、アドバンスドオプション画面が表示されます。アドバンスドオプション画面では、OS 起動時に Status Monitor を自動で起動させるか、エラー情報をメールで通知するかなどの設定ができます。

■ ご注文 —［ご注文］をクリックすると、自動的に消耗品の注文ページにアクセスします。アクセス先のアドレスは、アドバンスドオプション画面で変更できます。

■ プリンタのアラーム — 注意が必要な状態（例：注意：イエロートナー残量少）を知らせるメッセージが表示されます。

■ エラーと復旧の指示 — 問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。

消耗品タブ

各消耗品の現在の状況が表示されます。

■ ご注文 — ［ご注文］をクリックすると、自動的に消耗品の注文ページにアクセスします。アクセス先のアドレスは、アドバンスドオプション画面で変更できます。

■ 情報の更新 — 消耗品の状況を再チェックし表示します。

［ヘルプ］をクリックすると Status Monitor の解説画面が表示されます。あわせてごらんください。

Status Monitor で表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

Status Monitor の警告の確認

Status Monitor がプリンターの問題を検知すると、タスクバーにあるアイコンが、プリンターの問題の重大度によって、緑色から黄色、マゼンタ色または赤色に変わります。

Status Monitor の警告の解除

Status Monitor がプリンターの問題の発生を検知しているときに、タスクバーにある Status Monitor アイコンをダブルクリックして Status Monitor を開きます。Status Monitor には、発生したエラーの内容が表示されます。

Status Monitor を閉じる

［閉じる］をクリックし Status Monitor の画面を閉じます。Status Monitor を終了する場合は、タスクバーにある Status Monitor アイコンを右クリックし、［終了］をクリックしてください。

Status Monitor のアンインストール

Status Monitor のアンインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

Windows 7/Vista/Server 2008 を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

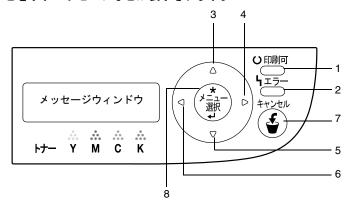
Status Monitor は、以下のいずれかの方法でアンインストールできます。

■ 「プログラムの追加と削除」（Windows 7/Vista/Server 2008 の場合は「プログラムと機能」、Windows 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」）を使う

■ Utilities and Documentation CD-ROM の「status monitor」フォルダーにある setup.exe を再度実行する

操作パネルと
メニュー

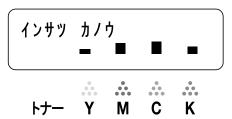
操作パネルについて

プリンター上部にある操作パネルでは、直接プリンターの操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウにはプリンターの状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。

操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	印刷可	印刷可能（データ受信可能）な状態になっていません。	印刷可能（データ受信可能）な状態です。
2	エラー	問題なし。	操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。）

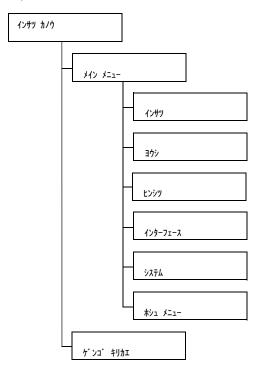
No.	キー	機能
3	▲	■ 現在表示されているメニューの上のメニューレベルに戻ります。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の前の文字が表示されます。
4	►	■ 表示されているメニュー／設定項目の右のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム右へ移動します。
5	▼	■ 表示中のメニューが選択され、サブメニューまたは設定項目が表示されます。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の次の文字が表示されます。
6	◄	■ 表示されているメニュー／設定項目の左のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム左へ移動します。
7	キャンセル	■ 表示中の設定変更を取り消します。 ■ 印刷中に、操作パネルから（すべてのあるいは現在処理中の）ジョブをキャンセルできます。 1. ［キャンセル］キーを押します。 2. ◄ または ► キーを押して「ｼﾞｮﾌﾞｦｷｬﾝｾﾙｽﾙ / ｶﾚﾝﾄ」または「ｼﾞｮﾌﾞｦｷｬﾝｾﾙｽﾙ / ｽﾍﾞﾃ」を選択します。 3. ［メニュー選択］キーを押します。 プリントジョブがキャンセルされます。
8	* メニュー 選択 ↵	■ 設定メニューが表示されます。 ■ サブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ 表示されている項目が選択されます。

トナー残量の表示について

イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各トナーカートリッジのトナー残量はメッセージウィンドウに以下のように表示されます。

エラーが発生している場合は、トナー残量表示は表示されず、エラーが表示されます。

操作パネルのメニュー一覧

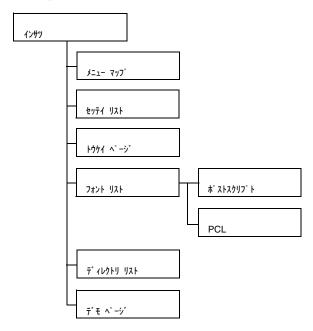
本プリンターの操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

メニュー

「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ｼｽﾃﾑ / ｾｷｭﾘﾃｨ / ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ / ﾕｳｺｳ」が「ｵﾝ」に設定されている場合、メインメニューに入るにはユーザーパスワードもしくは管理者パスワードを入力する必要があります。入力したパスワードの権限により表示されるメニューが異なります。
各パスワードの初期値については、「システムメニュー」（p.99）をごらんください。

メイン メニュー

印刷メニュー

本メニューでは、統計ページや、デモページなどのプリンターに関する情報を印刷できます。

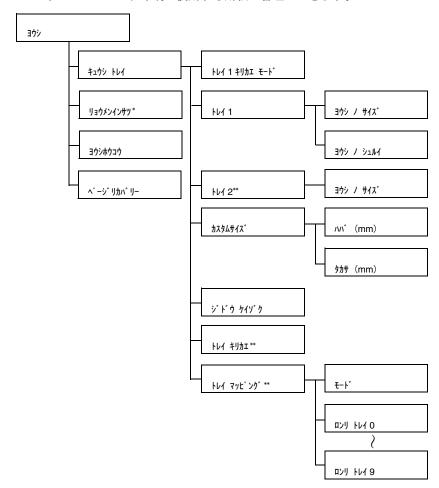
太字は工場出荷時の設定値を表します。

ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ
	メニューマップを印刷します。	
ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ
	設定リストページを印刷します。	
ﾄｳｹｲ ﾍﾟｰｼﾞ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ
	印刷枚数などの統計ページを印刷します。	

ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ	ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		ポストスクリプトのフォントリストを印刷します。	
	PCL	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
		PCL のフォントリストを印刷します。	
ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
	フラッシュ RAM のディレクトリリストを印刷します。		
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
	デモページを印刷します。		

ﾄｳｹｲ ﾍﾟｰｼﾞ で表示される消耗品の残量表示および基準換算カバレッジ情報は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

用紙メニュー

本メニューでは、印刷で使用する用紙の管理ができます。

- ﾖｳｼ
  - ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ
    - ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ
    - ﾄﾚｲ 1
      - ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ
      - ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ
    - ﾄﾚｲ 2**
      - ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ
    - ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ
      - ﾊﾊﾞ (mm)
      - ﾀｶｻ (mm)
    - ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ
    - ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ**
    - ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ**
      - ﾓｰﾄﾞ
      - ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 0
      - ～
      - ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 9
  - ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ*
  - ﾖｳｼﾎｳｺｳ
  - ﾍﾟｰｼﾞﾘｶﾊﾞﾘｰ

* 本メニューはオプションの両面プリントユニットを装着している場合に表示されます。

** 本メニューはオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

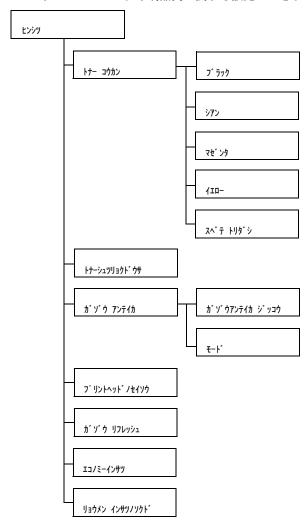
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ	設定		**ｼﾞﾄﾞｳ**/ﾄﾚｲ ﾕｳｾﾝ
		トレイ 1 から印刷する場合の、用紙サイズおよび用紙の種類の設定方法を選択します。 「ｼﾞﾄﾞｳ」を選択した場合は、プリンタードライバーの設定に従って印刷します。 「ﾄﾚｲ ﾕｳｾﾝ」を選択した場合は、「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾖｳｼ / ｷｭｳｼﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1」の「ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ」および「ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ」の設定に従って印刷します。		
	ﾄﾚｲ 1	ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ	設定	ﾚﾀｰ/ ﾘｰｶﾞﾙ/ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ/**A4**/ A5/B5/B5(ISO)/G. ﾚﾀｰ / ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ /Folio/UK ｸｵｰﾄ / Foolscap/G. ﾘｰｶﾞﾙ / ﾖｳｹｲ 2/ ﾌｳﾄｳ DL/ ﾊｶﾞｷ / ｶｲ 16/ ｶｲ 32/ 16K/SP Folio/Oficio/ ｶｽﾀﾑ
			トレイ 1 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。	
		ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ	設定	**ﾌﾂｳｼ** / ﾗﾍﾞﾙ / ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ / ﾌｳﾄｳ / ﾊｶﾞｷ / ｱﾂｶﾞﾐ 1/ ｱﾂｶﾞﾐ 2
			トレイ 1 にセットする用紙の種類を選択して設定します。	
	ﾄﾚｲ 2	ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ	設定	ﾚﾀｰ /**A4**
			トレイ 2 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。	
	ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ	ﾊﾊﾞ (mm)	設定	**92**-216 mm
			トレイ 1 にセットした用紙がカスタムサイズの場合、用紙の幅を設定します。	
		ﾀｶｻ (mm)	設定	■普通紙の場合 **195**-356 mm ■厚紙の場合 **184**-297 mm
			トレイ 1 にセットした用紙がカスタムサイズの場合、用紙の高さを設定します。	

	ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**	
		「ｵﾝ」に設定すると、用紙エラーが発生しても印刷を停止しません。 「ｵﾌ」に設定すると、用紙エラーが発生した場合、印刷を停止します。ただし、用紙エラーを検出するまで数枚印刷する場合があります。		
	ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	設定	**ﾊｲ** / ｲｲｴ	
		「ﾊｲ」に設定すると、給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 プリンタードライバーの用紙トレイが「自動」に設定されている場合に有効です。 「ｲｲｴ」に設定すると、給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。		
	ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ	ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
			トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。	
		ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 0-9	設定	**ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 1**/ ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 2
			他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 「ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 2」のみ工場出荷時の設定値が「ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 2」に設定されています。その他はすべて「ﾌﾞﾂﾘ ﾄﾚｲ 1」が工場出荷時の設定値です。	
ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ	設定	**ｵﾌ** / ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ / ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ		
	「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」に設定した場合は、縦にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」に設定した場合は、横にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 プリンタードライバーでの設定が本メニューの設定より優先されます。 本メニューはオプションの両面プリントユニットを装着している場合に表示されます。			

ﾖｳｼﾎｳｺｳ	設定	ﾀﾃ / ﾖｺ
	用紙の向きを設定します。 「ﾀﾃ」に設定した場合は、縦に長い向きで印刷を行います。 「ﾖｺ」に設定した場合は、横に長い向きで印刷を行います。	
ﾍﾟｰｼﾞ ﾘｶﾊﾞﾘｰ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	プリンターが紙づまりから復旧したときに、印刷をやり直すかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、紙づまりしたページの印刷をやり直します。 「ｵﾌ」に設定した場合は、紙づまりしたページの次のページから印刷を続行します。	

品質メニュー

本メニューでは、印刷品質に関する設定ができます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="8">ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ</td><td rowspan="2">ﾌﾞﾗｯｸ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブラックトナーカートリッジの交換を行います。
「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、ブラックトナーカートリッジが交換位置へと移動します。
トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.134）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｼｱﾝ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">シアントナーカートリッジの交換を行います。
「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、シアントナーカートリッジの交換位置へと移動します。
トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.134）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾏｾﾞﾝﾀ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">マゼンタトナーカートリッジの交換を行います。
「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、マゼンタトナーカートリッジの交換位置へと移動します。
トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.134）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｲｴﾛｰ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">イエロートナーカートリッジの交換を行います。
「ﾊｲ」を選択すると、ラックが自動的に回転し、イエロートナーカートリッジの交換位置へと移動します。
トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.134）をごらんください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">ｽﾍﾞﾃ ﾄﾘﾀﾞｼ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」を選択すると、プリンターの動作モードが「トナー取り出しモード」に切り替わります。

このモードは、すべてのトナーカートリッジを取り出す場合に使用します。

すべてのトナーカートリッジを取り出す方法については、「すべてのトナーカートリッジを取り出す方法」（p.141）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾄﾅｰ ｼｭﾂﾘｮｸ ﾄﾞｳｻ</td><td>設定</td><td colspan="2">ﾃｲｼ / ｹｲｿﾞｸ</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ﾃｲｼ」に設定すると、トナーがなくなった時に印刷を停止します。

「ｹｲｿﾞｸ」に設定すると、トナーがなくなっても印刷を続行できますが印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると「X ﾄﾅｰｼﾞｭﾐｮｳ」を表示し、印刷を停止します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｶﾞｿﾞｳ ｱﾝﾃｲｶ</td><td rowspan="2">ｶﾞｿﾞｳｱﾝﾃｲｶ ｼﾞｯｺｳ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」を選択すると、画質調整が実行されます。

画像安定化機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意下さい。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｵﾝ」に設定すると、画質調整の機能が有効になります。

「ｵﾌ」に設定すると、画質調整の機能が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞﾉ ｾｲｿｳ</td><td>設定</td><td colspan="2">ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ﾊｲ」を選択すると、プリンターの動作モードが「プリントヘッド清掃モード」に切り替わります。

「プリントヘッド清掃モード」は、ユーザーがプリントヘッドを清掃しやすくするためのモードです。自動的にプリントヘッドが清掃されるわけではありません。

プリントヘッドの清掃方法については、「プリントヘッドの清掃」（p.156）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｶﾞｿﾞｳ ﾘﾌﾚｯｼｭ</td><td>設定</td><td colspan="2">ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ﾊｲ」を選択すると、画像リフレッシュの処理を実行します。

印刷した画像に周期的な白薄い横線が入る場合に使用します。

画像リフレッシュ機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。</td></tr>
</table>

ｴｺﾉﾐｰ ｲﾝｻﾂ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定すると、消費量を抑えた印刷を行います。 「ｵﾌ」に設定すると、消費量を抑えた印刷を行いません。	
ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂﾉ ｿｸﾄﾞ	設定	ｼﾞﾄﾞｳ / ｿｸﾄﾞ ｼﾞｭｳｼ / ﾋﾝｼﾂ ｼﾞｭｳｼ
	両面印刷時の印刷速度を設定します。 「ｼﾞﾄﾞｳ」を設定すると、印刷速度は自動的に設定されます。 「ｿｸﾄﾞ ｼﾞｭｳｼ」を設定すると、印刷速度を優先しますが、印刷品質が低下することがあります。 「ﾋﾝｼﾂ ｼﾞｭｳｼ」を設定すると、印刷品質を優先するため、印刷速度は下がりますが、印刷品質が向上することがあります。	

インターフェースメニュー

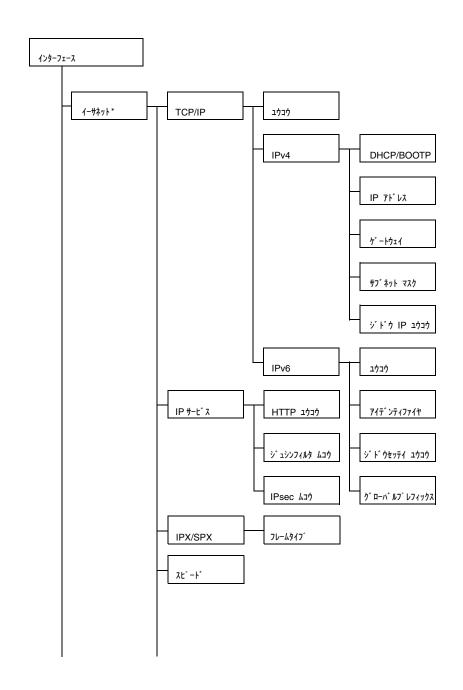
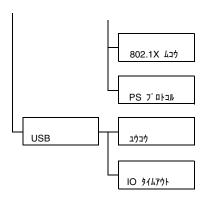
本メニューでは、インターフェースの設定ができます。

「ｲｰｻﾈｯﾄ」メニューの一部の設定（TCP/IP の IP アドレスなど）を変更した場合は、プリンターを再起動する必要があります。

このような場合は、設定の変更後に（▲キーを複数回押して）メニューを終了しようとすると、次の画面が表示されます。「ﾊｲ」を選択して［メニュー選択］キーを押すと、プリンターが再起動されます。

```
REBOOT
*ﾊｲ
```

または、プリンターの電源を切り、数秒後にプリンターの電源を入れ直してください。

ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
ｲｰｻﾈｯﾄ*
TCP/IP
ﾕｳｺｳ
IPv4
DHCP/BOOTP
IP ｱﾄﾞﾚｽ
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ
IPv6
ﾕｳｺｳ
ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾌｧｲﾔ
ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ ﾕｳｺｳ
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ
IP ｻｰﾋﾞｽ
HTTP ﾕｳｺｳ
ｼﾞｭｼﾝﾌｨﾙﾀ ﾑｺｳ
IPsec ﾑｺｳ
IPX/SPX
ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
ｽﾋﾟｰﾄﾞ

*「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ｼｽﾃﾑ / ｾｷｭﾘﾃｨ / ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ / ﾕｳｺｳ」が「ｵﾝ」に設定されている場合、管理者パスワードを入力しないと表示されません。
管理者パスワードの初期値については、「システムメニュー」（p.99）をごらんください。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="4">ｲｰｻﾈｯﾄ</td><td rowspan="4">TCP/IP</td><td rowspan="2">ﾕｳｺｳ</td><td>設定</td><td colspan="2">ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="3">「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。
「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">IPv4</td><td rowspan="2">DHCP/
BOOTP</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。
「ﾊｲ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的に取得します。
「IPv4 - ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ」の設定が「ｵﾝ」または「ｵﾌ」いずれの場合でも有効です。
「ｲｲｴ」に設定した場合は、IP アドレスを自動的には取得しません。</td></tr>
</table>

			IP ｱﾄﾞﾚｽ	設定	**192.168.001.002**
				本プリンターのネットワーク上の IP アドレスを設定します。 ▲、▼、◀、▶キーを使って値を入力します。 手動で IP アドレスを設定した場合、DHCP/BOOTP は自動で「ｲｲｴ」になります。	
			ｹﾞｰﾄｳｪｲ	設定	**000.000.000.000**
				ネットワークにルータがある場合に、ルータの IP アドレスを設定します。 ▲、▼、◀、▶キーを使って入力します。	
			ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ	設定	**000.000.000.000**
				ネットワークのサブネットマスク値を設定します。 ▲、▼、◀、▶キーを使って入力します。	
			ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				DHCP/BOOTP、PING、ARP が機能していないかレスポンスがない場合に、自動的に IP アドレスを設定するかどうかを選択します。 「ﾊｲ」を選択すると、IP アドレスを自動的に設定します。 「IPv4 - DHCP/BOOTP」が「ﾊｲ」に設定されている場合に有効です。 「ｲｲｴ」を選択すると、IP アドレスの自動的な設定を行いません。	

		IPv6	ﾕｳｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」に設定すると、IPv6 が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPv6 が無効になります。	
			ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾌｧｲﾔ	リンクローカルアドレスを表示します。	
			ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ ﾕｳｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ
				「ﾊｲ」に設定すると、IPv6 の自動設定が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPv6 の自動設定が無効になります。	
			ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ ﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ	グローバルアドレスを表示します。	
	IP ｻｰﾋﾞｽ	HTTP ﾕｳｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
			「ﾊｲ」を選択すると、HTTP が有効になります。 「ｲｲｴ」を選択すると、HTTP は無効になります。		
		ｼﾞｭｼﾝﾌｨﾙﾀ ﾑｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
			IP フィルタリング機能を無効にするかどうかを選択します。 「ﾊｲ」に設定すると、フィルターが無効になります。		
		IPsec ﾑｺｳ	設定	ﾊｲ / ｲｲｴ	
			IPsec 機能を無効にするかどうかを選択します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPsec が無効になります。		
	IPX/SPX	ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ	設定	ｼﾞﾄﾞｳ/802.2/802.3/ETHERII/SNAP	
			NetWare 上で使用するプロトコルを設定します。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="2">ｽﾋﾟｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｼﾞﾄﾞｳ/100 FULL DUPLEX/100 HALF DUPLEX/10 FULL DUPLEX/10 HALF DUPLEX</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">802.1X ﾑｺｳ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">IEEE802.1X 機能を無効にするかどうかを選択します。
「ﾊｲ」に設定すると、IEEE802.1X 機能が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ</td><td>設定</td><td>ﾊﾞｲﾅﾘ / ｸｵｰﾃｯﾄﾞﾊﾞｲﾅﾘ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポストスクリプトのジョブを受信するプロトコルを設定します</td></tr>
<tr><td rowspan="4">USB</td><td rowspan="2">ﾕｳｺｳ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」に設定すると、USB が有効になります。
「ｲｲｴ」に設定すると、USB が無効になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">IO ﾀｲﾑｱｳﾄ</td><td>設定</td><td>0-60-999</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB を使用して受信中のプリントジョブのタイムアウトの時間を設定できます。</td></tr>
</table>

システムメニュー

本メニューでは、メッセージウィンドウに表示する言語や、節電モードに移行するまでの時間など、プリンターの動作に関する設定ができます。

「ｼｽﾃﾑ / ｾｷｭﾘﾃｨ / ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ / ﾕｳｺｳ」が「ｵﾝ」に設定されている場合、管理者パスワードを入力しないと表示されません。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">ｲﾝｼﾞ
ﾋﾝｼﾂ</td><td>設定</td><td colspan="2">ｺｳﾋﾝｼﾂ / ﾋｮｳｼﾞｭﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="3">印刷の品質を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｶﾗｰ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">ｶﾗｰ / ﾓﾉｸﾛ</td></tr>
<tr><td colspan="3">フルカラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。
カラーモードの設定は、プリンタードライバーで設定したモードが優先されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
ｾｯﾃｲ</td><td rowspan="2">ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>ｼﾞﾄﾞｳ / ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ /PCL5/PCL XL/
ﾍｯｸｽﾀﾞﾝﾌﾟ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンター制御言語を選択します。
「ｼﾞﾄﾞｳ」を選択した場合は、プリンターが受信したプリントジョブから自動的にプリンター制御言語を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｼﾞﾄﾞｳ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>PCL5/ ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信したプリントジョブからプリンター記述言語を特定できない場合に使用する言語を設定します。</td></tr>
</table>

	ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ	ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ	
			ポストスクリプトエラーが発生した時に、エラーページを印刷するかしないかを設定できます。 「ｵﾝ」に設定した場合は、エラー発生時にエラーページを印刷します。		
	PCL	ｶｲｷﾞｮｳ ｼﾃｲ	設定	**CR=CR LF=CRLF**/ CR=CR LF=LF/ CR=CRLF LF=LF/ CR=CRLF LF=CRLF	
			PCL 言語での改行コードの定義を選択します。		
		ﾌｫﾝﾄ	ﾋﾟｯﾁ	設定	44-**1000**-9999
				PCL 言語でのビットマップフォントサイズを設定します。	
			ﾊﾞﾝｺﾞｳ	設定	**0**-32767
				PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。 表示されるフォント番号は PCL フォントリストに対応しています。フォントリストの印刷については、「印刷メニュー」（p.84）をごらんください。	
			ﾎﾟｲﾝﾄ	設定	400-**1200**-99975
				PCL 言語でのアウトラインフォントサイズを設定します。	
			ｼﾝﾎﾞﾙ ｾｯﾄ	PCL 言語で使用するシンボルセットを選択します。 工場出荷時の設定値は PC8 に設定されています。	

<table>
<tr><td rowspan="4">ｽﾀｰﾄ
ｵﾌﾟｼｮﾝ</td><td rowspan="4">ｽﾀｰﾄﾍﾟｰｼﾞ</td><td>設定</td><td>ﾊｲ / ｲｲｴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンターの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ﾊｲ」に設定した場合は、スタートページの印刷を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「ｲｲｴ」に設定した場合は、スタートページの印刷を行いません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾋﾂﾞｹ</td><td>設定</td><td colspan="2">yyyymmdd:hhmmss</td></tr>
<tr><td colspan="3">内蔵されている時計の日付を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">日付は年、月、日、時、分、秒の順の設定になっています。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｾﾂﾃﾞﾝ
ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td colspan="2">15 ﾌﾝｺﾞ/30 ﾌﾟﾝｺﾞ/1 ｼﾞｶﾝｺﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="3">節電モードへ移行するまでの時間を設定します。</td></tr>
</table>

ｾｷｭﾘﾃｨ	ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ	ﾕｳｺｳ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
			メニュー操作のパスワード保護を設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、すべてのメニューをパスワードで保護します。	
		ﾕｰｻﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	設定	1
			ユーザー用のメニューを表示するためのユーザーパスワードを設定します。 このパスワードは、「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ｼｽﾃﾑ / ｾｷｭﾘﾃｨ / ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ / ﾕｳｺｳ」を「ｵﾝ」にした場合に有効になります。 パスワードは最大 16 文字です。 空のパスワードは設定できません。	
		ｶﾝﾘｼｬﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｾｯﾃｲ	設定	プリンターのシリアル番号の下 4 桁
			管理者用のメニューを表示するための管理者パスワードを設定します。 このパスワードは、「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ｼｽﾃﾑ / ｾｷｭﾘﾃｨ / ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ / ﾕｳｺｳ」を「ｵﾝ」にした場合に有効になります。 パスワードは最大 16 文字です。 空のパスワードは設定できません。	
ﾌｫｰﾏｯﾄ	ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘﾉ ｼｮｳｷｮ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**	
		フラッシュ RAM の初期化を行います。		
ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｼｮｷｶ	ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾒﾆｭｰ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**	
		すべてのメニュー項目の設定を初期値に戻します。		
	ｾｯﾃｲ ﾎｿﾞﾝ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**	
		変更したすべてのメニュー項目の設定を保存します。		
	ﾎｿﾞﾝ ﾁ ﾃﾞ ｼｮｷｶ	設定	ﾊｲ / **ｲｲｴ**	
		すべてのメニュー項目を、「ｾｯﾃｲ ﾎｿﾞﾝ」で最後に保存した設定に変更します。		

保守メニュー

本メニューは、サービス技術者がプリンターの調整や、メンテナンスのために使用するメニューです。ユーザーは使用しません。

言語切り替えメニュー

ENGLISH/FRANCAIS/DEUTSCH/ESPANOL/ITALIANO/PORTUGES/Nederlands/CESKY/ﾆﾎﾝｺﾞ/Polish	メッセージウィンドウの表示言語を選択した言語に切り替えることができます。初期設定は「ﾆﾎﾝｺﾞ」です。 言語の選択肢は、それぞれ該当する言語で操作パネルに表示されます。たとえば、「ドイツ語」の場合は、「DEUTSCH」と表示されます。

用紙の取り扱い 5

使用できる出力用紙サイズ

本プリンターでは以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ*	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
レター	215.9×279.4	8.5×11.0	1/2	○
リーガル	215.9×355.6	8.5×14.0	1	×
ステートメント	139.7×215.9	5.5×8.5	1	×
エグゼクティブ	184.2×266.7	7.25×10.5	1	×
A4	210.0×297.0	8.2×11.7	1/2	○
A5	148.0×210.0	5.9×8.3	1	×
B5 (JIS)	182.0×257.0	7.2×10.1	1	×
Folio	210.0×330.0	8.25×13.0	1	×
SP Folio	215.9×322.3	8.5×12.69	1	×
Foolscap	203.2×330.2	8.0×13.0	1	×
UK クオート	203.2×254.0	8.0×10.0	1	×
G. レター	203.2×266.7	8.0×10.5	1	×
G. リーガル	215.9×330.2	8.5×13.0	1	×
16K	195.0×270.0	7.7×10.6	1	×
Kai 16	185.0×260.0	7.3×10.2	1	×
Kai 32	130.0×185.0	5.1×7.3	1	×
Oficio Mexico	215.9×342.9	8.5×13.5	1	×
B5 (ISO)	176.0×250.0	6.9×9.8	1	×
封筒 DL	220.0×110.0	8.7×4.3	1	×
洋形２号	162.0×114.0	6.4×4.5	1	×
ハガキ	100.0×148.0	3.9×5.8	1	×
カスタムサイズ（最小値）**	92.0×195.0	3.6×7.7	1	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ*	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
カスタムサイズ（最大値）**	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1	×
備考：* トレイ 1 は汎用 トレイ 2 は普通紙専用 ** 厚紙の場合 カスタムサイズの最小値は、92.0 × 184.0 mm （3.6 × 7.25 インチ） カスタムサイズの最大値は、216.0 × 297.0 mm（8.5 × 11.7 インチ）				

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタードライバーから設定してください。

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙（再生紙）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さにより変わります。）
	トレイ 2 （オプション）	500 枚（用紙の厚さにより変わります。）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	普通紙	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	A4 サイズまたはレターサイズの普通紙のみ実行できます。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンター対応の普通紙（再生紙）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンターの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

■ 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）

■ 熱転写用紙

■ 水転写用紙

■ 感圧紙

■ アイロンプリント用紙

■ インクジェットプリンター用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）

■ 一度印刷に使用した用紙
・インクジェットプリンターで印刷された用紙
・モノクロ／カラーのレーザープリンター／コピー機で印刷された用紙
・熱転写プリンターで印刷された用紙
・他のプリンターやファクス機で印刷された用紙

■ 湿気のある用紙
湿度が 15% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。

■ 重なっている用紙

■ 粘着性のある用紙

■ 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙

■ 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙

■ なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの

■ 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙

■ 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙

■ 静電気がたまっている用紙

■ アルミ箔や金箔、光っているもの

■ 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙

■ 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙

■ のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの

■ 酸性のもの

■ その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

<table>
<tr><td rowspan="2">容量</td><td>トレイ 1</td><td>50 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>対応していません。</td></tr>
<tr><td>用紙のセット方向</td><td colspan="2">印刷面が上向き</td></tr>
<tr><td>プリンタードライバーでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">厚紙 1（91 ～ 163 g/m^2）
厚紙 2（164 ～ 209 g/m^2）</td></tr>
<tr><td>坪量</td><td colspan="2">91 ～ 209 g/m^2</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td colspan="2">対応していません。</td></tr>
</table>

以下のような使いかたはしないでください。

■ 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

どの封筒の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ サイズが封筒 DL または洋形 2 号の封筒
（その他のサイズの封筒はサポート外となります。）

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンター対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	ラベル紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

- レーザープリンター用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

- はがれやすいラベル紙
- 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙

使用禁止

使用可

型抜きされて台紙面が
露出しているラベル紙

断裁されていない
ページ全体のラベル紙

レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	レターヘッド	
両面印刷	対応していません。	

はがき

はがきには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	ハガキ	
両面印刷	対応していません	

以下のはがきを使用してください。

■ サイズ：100 × 148 mm
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

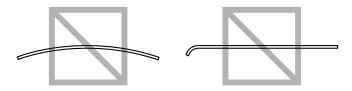
以下のようなはがきは使用しないでください。

■ 光沢のあるもの

■ 曲がっているもの

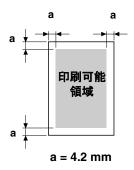
■ 切り込みやミシン目のあるはがき

■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

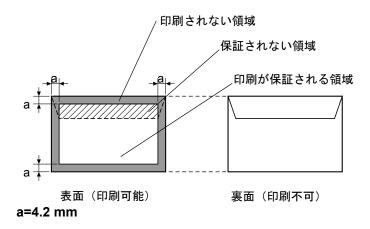
印刷可能領域

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4.2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、以下の制約があります。

- 印刷可能領域は、用紙の先端から 339.6 mm です（ただし、先端の 4.2 mm は余白になります）。
- 用紙の後端の 16 mm は余白になります。

封筒の場合

封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。

 封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

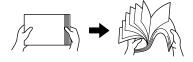
 封筒 DL を使用する場合、端から左右 6 mm の領域には印刷できません。

ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本プリンターの印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。

ご注意

本機は、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがき）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンターの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

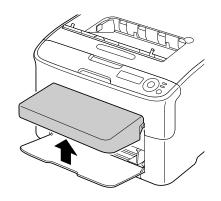
種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

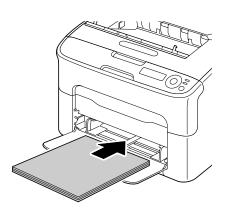
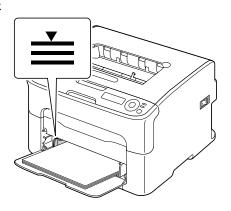
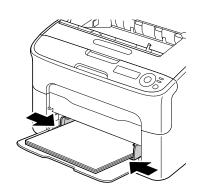
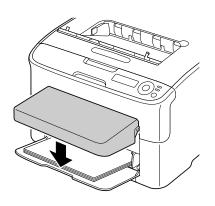
トレイ 1（多目的トレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。

普通紙の場合

1 ダストカバーを取り外します。

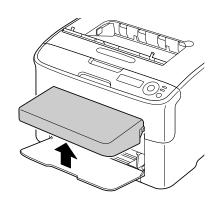
トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。

2 用紙ガイドを広げます。

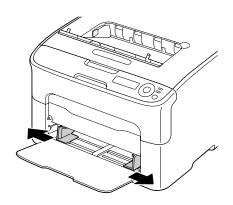
3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m^2）までセットできます。

4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

5 ダストカバーを取り付けます。

6 操作パネルから｢ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1｣を選択します。｢ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ｣、「ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは「用紙メニュー」（p.86）をごらんください。

その他の用紙

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタードライバーの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒など）

封筒の場合

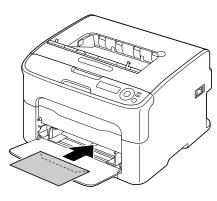
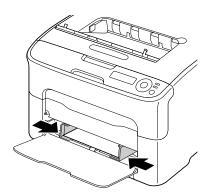
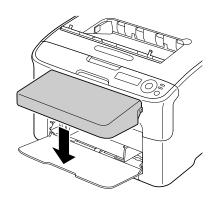
1 ダストカバーを取り外します。

2 トレイにセットされている用紙を取り出します。

3 用紙ガイドを広げます。

4 フタを下側にして封筒をセットします。

セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

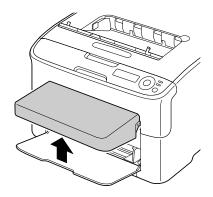
封筒は一度に 10 枚までセットできます。

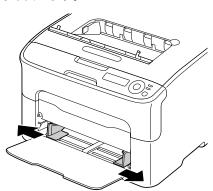
封筒は、封筒 DL と封筒洋形 2 号をサポートしています。封筒のフタは本機側にしてセットしてください。

5 封筒のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ダストカバーを取り付けます。

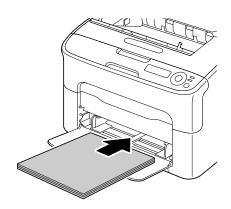
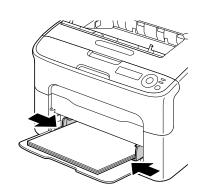
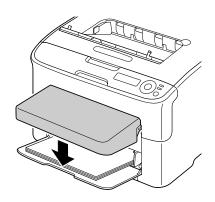
7 操作パネルから「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1」を選択します。「ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ」、「ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは「用紙メニュー」（p.86）をごらんください。

ラベル用紙 / レターヘッド / はがき / 厚紙の場合

1 ダストカバーを取り外します。

2 トレイにセットされている用紙を取り出します。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 50 枚までセットできます。

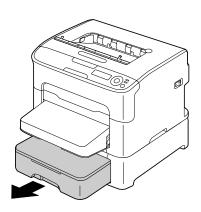
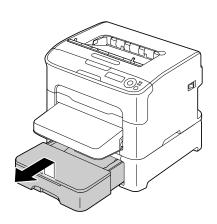
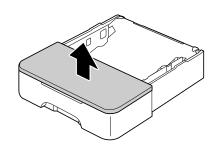
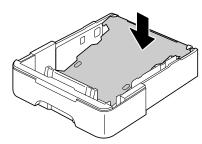
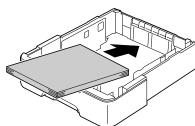
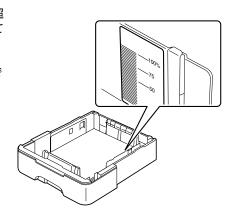
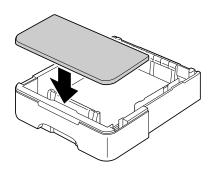
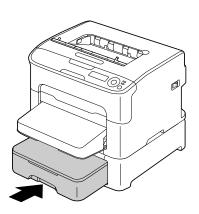
はがきは短辺（長さの短い方）を本体奥側へ向けてセットします。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ダストカバーを取り付けます。

7 操作パネルから「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 1」を選択します。「ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ」、「ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ」を選択して、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは「用紙メニュー」（p.86）をごらんください。

トレイ 2（オプションの給紙ユニット）

トレイ 2 には、A4 サイズの普通紙のみセットできます。

普通紙の場合

1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。

2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。

3 トレイ２のふたを取り外します。

4 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。
普通紙は１度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。

6 トレイ２のふたを取り付けます。

7 トレイ２をプリンターに戻します。

両面印刷

本機に両面プリントユニットを装着している場合は、両面印刷を実行できます。

取り付け方法は「両面プリントユニットの取り付け」（p.218）をごらんください。

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

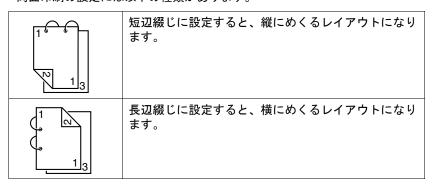
自動両面印刷は、A4 またはレターサイズの普通紙（60 ～ 90 g/m²）にのみ対応しています。
その他のサイズの普通紙や、封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがき、厚紙では、両面印刷できません。

自動両面印刷の方法は？

両面プリントユニットがプリンターに装着されている状態では、両面印刷を行なうことができます。両面プリントユニットがプリンターに装着されていない状態で両面印刷を行うと、それぞれのページが片面印刷されます。

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

	短辺綴じに設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	長辺綴じに設定すると、横にめくるレイアウトになります。

「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	小冊子左綴じに設定すると、左開きの本のようにレイアウトされます。
	小冊子右綴じに設定すると、右開きの本のようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタードライバーで、両面印刷のレイアウトを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙もプリンター上部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で 100 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

■ 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。

■ いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

■ 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。

- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（35°C 以上の場所）
- ほこりの多い場所

■ 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジおよびイメージングカートリッジは再資源化しています。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンターではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンターや手などにこぼれないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、トナー残量が正しく表示されないことがあります。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

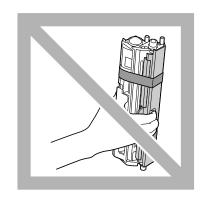
トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。本体およびトナーカートリッジの製品番号は上カバーの内側のラベルでご確認ください。

本体製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
MC1650EN	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	TCSMC1600Y
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	TCSMC1600M
	トナーカートリッジ - シアン（C）	TCSMC1600C
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	TCHMC1600K
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	TCHMC1600Y
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	TCHMC1600M
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	TCHMC1600C

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下､湿度 85% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

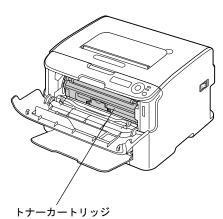
トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、「X ﾄﾅｰﾅｼ」（X はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾋﾝｼﾂ / ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」メニューで「ｹｲｿﾞｸ」に設定している場合、「X ﾄﾅｰﾅｼ」のメッセージが表示された後でも印刷を続行できますが、印刷結果は保証されません。印刷を続け、トナーが完全になくなると、「X ﾄﾅｰｼﾞｭﾐｮｳ」と表示され、印刷を停止します。詳しくは、「品質メニュー」（p.90）をごらんください。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認し、手順２へ進みます。

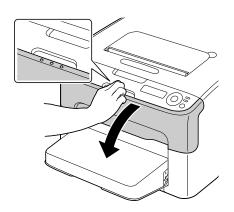
「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾋﾝｼﾂ / ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」メニューを「ﾃｲｼ（工場出荷時の状態）」に設定している場合、トナーがなくなると、印刷が止まり、トナーカートリッジは自動的に交換位置へ移動します。

強制的にトナーカートリッジを交換したい場合は、下の表の作業を行うことで、トナーカートリッジラックが自動的に回転し、指定した色のトナーカートリッジが交換位置へと移動します。

押すキー	ディスプレイ
	X ﾄﾅｰﾅｼ　または X ﾄﾅｰｼﾞｭﾐｮｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
► ×2	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ﾋﾝｼﾂ

押すキー	ディスプレイ
メニュー 選択	ﾋﾝｼﾂ ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ
メニュー 選択	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ﾌﾞﾗｯｸ
交換するトナーカートリッジの色が表示されるまで ► を押します。	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ X
メニュー 選択	X * ﾊｲ
メニュー 選択	* ﾊｲ ｶﾞ ｾﾝﾀｸ ｻﾚﾏｼﾀ
	しばらくすると、以下のように表示されます。 ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ

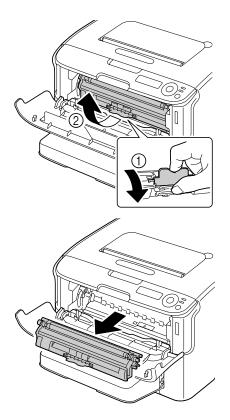
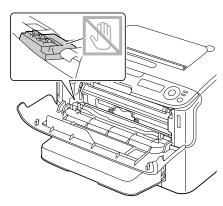
2 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

3 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ていることを確認します。

トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。

4 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

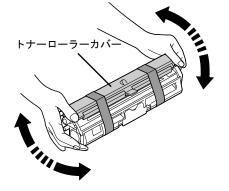
トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。

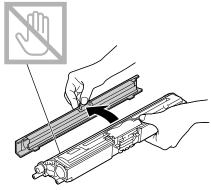
ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

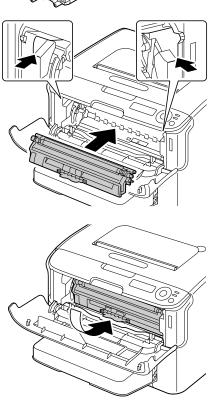
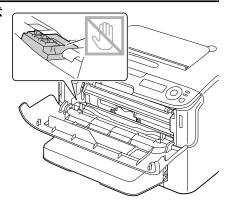
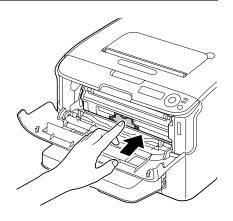
5 新しいトナーカートリッジを用意します。

6 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

 トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。

7 トナーローラーカバーを取り外します。

トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。

8 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

9 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

10 前カバーを閉じます。

トナーカートリッジ交換後、プリンターはキャリブレーションを行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」が表示される前にカバーを開けると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

すべてのトナーカートリッジを取り出す方法

ご注意

トナーカートリッジを取り出すときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

「トナー取り出しモード」を使用すると、すべてのトナーカートリッジを取り出すことができます。このモードは消耗品を除く本体をサポートセンターに送り渡す場合などに使用します。

「トナー取り出しモード」の使用方法は、以下のとおりです。

1 以下の操作を行い、プリンターの動作モードを「トナー取り出しモード」に切り替えます。

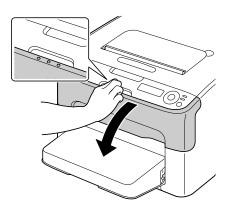
押すキー	ディスプレイ
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
► ×2	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ﾋﾝｼﾂ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾋﾝｼﾂ ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ﾌﾞﾗｯｸ
►	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｽﾍﾞﾃ ﾄﾘﾀﾞｼ

押すキー	ディスプレイ
＊ メニュー 選択 ↵	ｽﾍﾞﾃ ﾄﾘﾀﾞｼ ＊ｲｲｴ
►	ｽﾍﾞﾃ ﾄﾘﾀﾞｼ ﾊｲ
＊ メニュー 選択 ↵	＊ﾊｲ ｶﾞｾﾝﾀｸ ｻﾚﾏｼﾀ
	しばらくすると、以下のように表示されます。 ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾅｰ ﾄﾘﾀﾞｼ

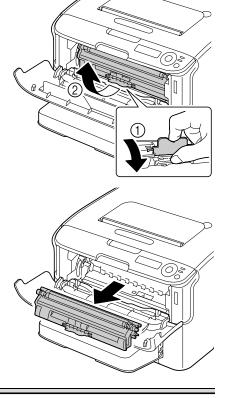
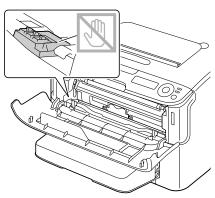
「トナー取り出しモード」は途中で終了できません（[キャンセル] キーを押しても終了しません）。

誤って「トナー取り出しモード」に切り替えた場合は、前カバーの開閉を 4 回行って「トナー取り出しモード」を終了してください。

2 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

3 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

4 前カバーを閉じます。

5 同様の手順で、シアン、ブラック、イエローの順にトナーカートリッジを取り出します。

6 ▲キーを 3 回押して、設定メニューを終了します。

イメージングカートリッジの交換手順

イメージングカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のイメージングカートリッジをご使用ください。本体およびイメージングカートリッジの製品番号は上カバーの内側のラベルでご確認ください。

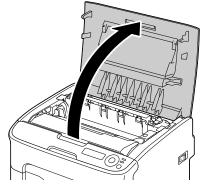
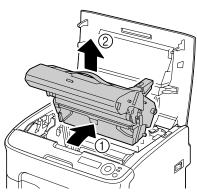
本体製品番号	製品名	イメージングカートリッジ製品番号
MC1650EN	イメージングカートリッジ	DCMC1600

交換にあたっては、上記製品番号のイメージングカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のイメージングカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

イメージングカートリッジが寿命に達すると「I/C ｼﾞｭﾐｮｳ」のメッセージが表示されます。以下の手順にしたがってイメージングカートリッジを交換してください。

イメージングカートリッジは右図の位置にあります。

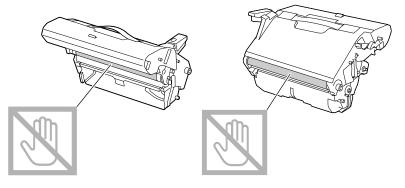
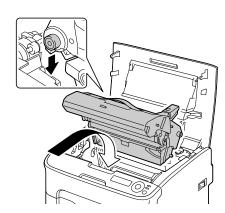
1 上カバーを開けます。

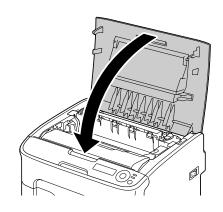
排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

使用済みイメージングカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいイメージングカートリッジを用意します。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

4 新しいイメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

5 上カバーを静かに閉じます。

イメージングカートリッジ交換後、プリンターはキャリブレーションを行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」が表示される前にカバーを開けると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

7 メンテナンス

プリンターのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンターのドア内部やプリンター本体の内部にあります。

プリンターを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンター内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンターの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

清掃前には、プリンターの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンター内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンターの損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1 時間お待ちください）。

- プリンター内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンターの上に物を置かないでください。
- プリンターの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンターの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンターのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンターの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンターの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンターの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンターのカバーはゆっくり閉めて下さい。プリンターに振動を与えないようにしてください。

- プリンターを使用後すぐにカバーや布などをかけないでください。電源を切り、プリンターの温度が下がるまで待ってください。
- 上カバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってイメージングカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中はプリンターの上カバーや前カバーを開けないでください。
- 用紙をプリンターの上部にあててそろえないでください。
- プリンターに油をさしたり、分解しないでください。
- プリンターを傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンターの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- プリンターを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンターを水平にして運んでください。
- プリンターを持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。
- プリンターを移動するときは、ダストカバーを外し、トレイ 1 をたたんでから運んでください。
- オプションの給紙ユニット、アタッチメント、両面プリントユニットを装着しているときは、プリンターから取り外して個別に運んでください。

- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

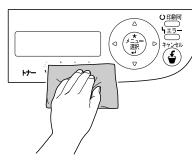
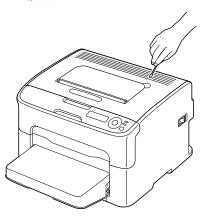
- プリンターの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

プリンターの清掃

注意

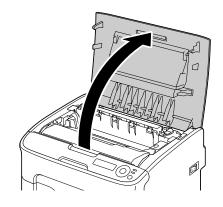
清掃前にはプリンターの電源を切り、電源ケーブルを外してください。ただし、プリントヘッドの清掃を行う場合は、プリンターの電源を入れた状態で行ってください。

プリンター外側の清掃

操作パネル

排気ダクト

プリンターの外側

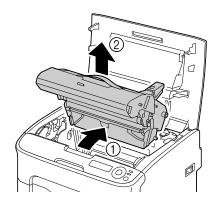
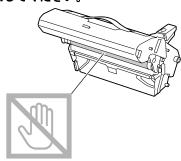
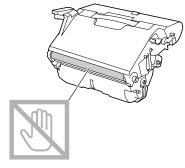
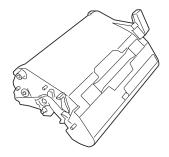
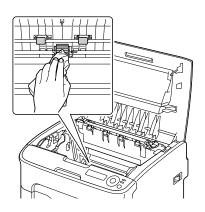
プリンター内部の清掃

給紙ローラーの清掃

給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

1 上カバーを開けます。

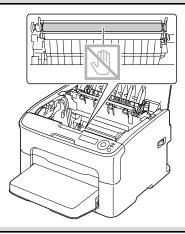
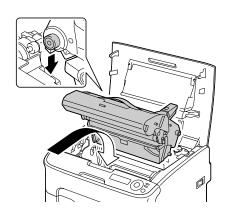
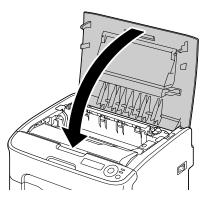
排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

4 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

5 上カバーを静かに閉じます。

プリントヘッドの清掃

プリントヘッドが汚れたまま使用すると、印字品質の問題が発生することがあります。

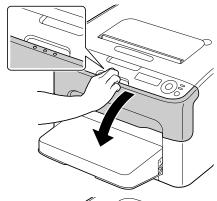
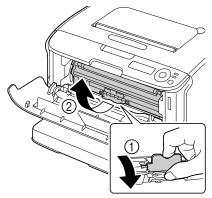
1 以下のいずれかの操作を行って、プリンターの動作モードをプリントヘッドの清掃モードに切り替えます。

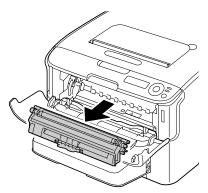
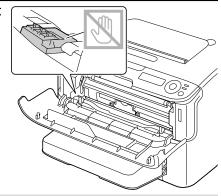
押すキー	ディスプレイ
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
★ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ

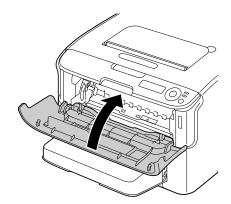
押すキー	ディスプレイ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
▶ ×2	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ﾋﾝｼﾂ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾋﾝｼﾂ ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ
▶ ×3	ﾋﾝｼﾂ ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞﾉｾｲｿｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞﾉｾｲｿｳ ＊ﾊｲ
＊ メニュー 選択 ↵	＊ﾊｲ ｶﾞｾﾝﾀｸ ｻﾚﾏｼﾀ
	しばらくすると、以下のように表示されます。 ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾅｰｦﾊｽﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ

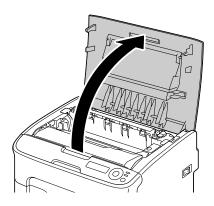
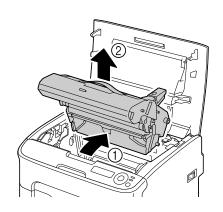
プリントヘッドの清掃モードを終了するには、［キャンセル］キーを押します。

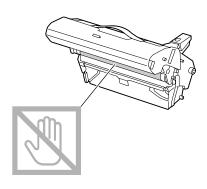
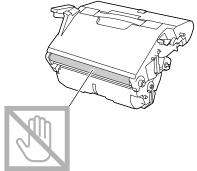
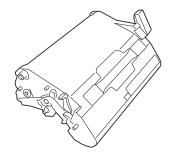
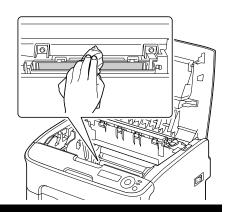
2 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

3 トナーの交換位置には、マゼンタのトナーカートリッジが来ています。
トナーカートリッジの装着が解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

マゼンタのトナーカートリッジを取り外すことで、プリンター内部に隙間ができ、プリントヘッドの清掃が行いやすくなります。

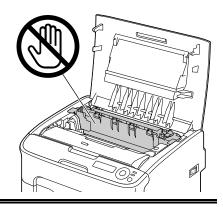
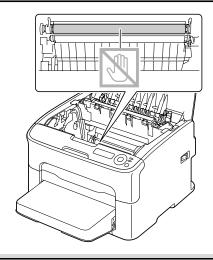
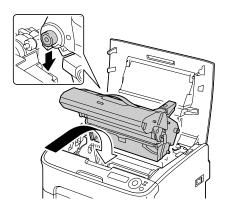
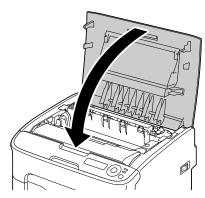
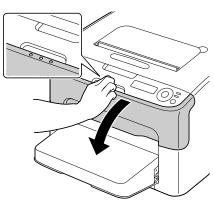
ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

4 前カバーを閉じます。

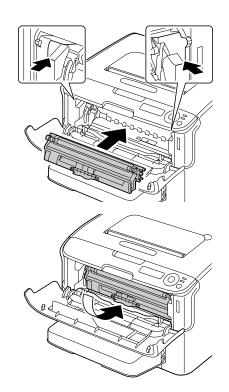
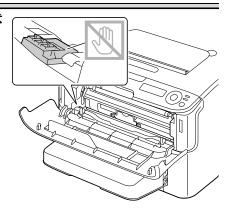
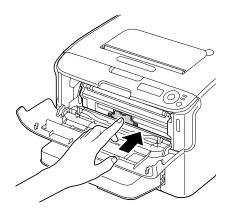
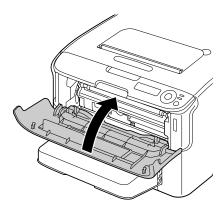
プリンターの内部でトナーカートリッジが回転します。

5 トナーカートリッジの回転が終了したら、上カバーを開けます。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

6 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。
イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

7 やわらかい乾いた布でプリントヘッドの汚れを拭き取ります。

注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

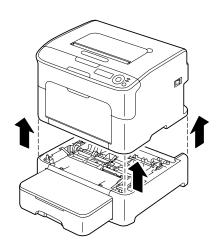
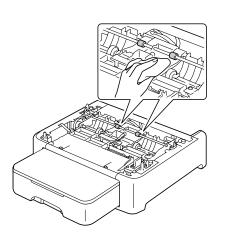
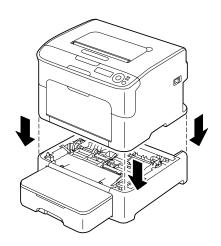
ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

8 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

9 上カバーを静かに閉じます。

10 トナーカートリッジの回転が終了したら、前カバーを開けます。

11 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

12 マゼンタのトナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

13 前カバーを閉じます。

トレイ 2 の給紙ローラーの清掃

トレイ 2 の給紙ローラーの清掃は、両面プリントユニットを取り外してから行ってください。

1 両面プリントユニットが装着されている場合は、両面プリントユニットを取り外します。

2 トレイ 1 のダストカバーを外し、トレイ 1 と排紙トレイをたたみます。

3 プリンターを持ち上げ、給紙ユニットから取り外し、安定した水平な場所に一時的に置きます。

4 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

5 プリンターを持ち上げ、給紙ユニットの位置決めピンをプリンターの底の受け穴にあわせて正しくセットします。

6 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

7 手順 1 で両面プリントユニットを取り外した場合は、両面プリントユニットを取り付けます。

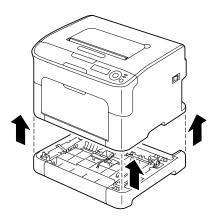
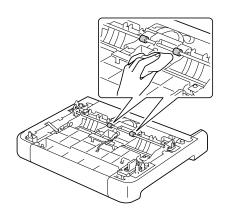
両面プリントユニットの取り付けについて詳しくは、「両面プリントユニットの取り付けかた」(p.221) をごらんください。

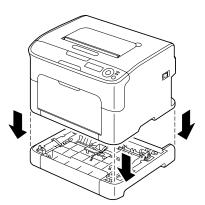
アタッチメントの給紙ローラーの清掃

アタッチメントの給紙ローラーの清掃は、両面プリントユニットを取り外してから行ってください。

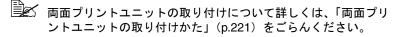
1 両面プリントユニットが装着されている場合は、両面プリントユニットを取り外します。

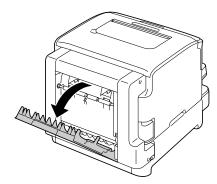
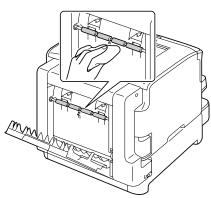
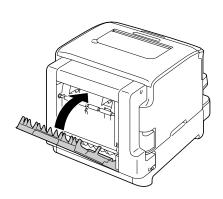
2 トレイ 1 のダストカバーを外し、トレイ 1 をたたみます。

3 プリンターを持ち上げてアタッチメントから取り外し、安定した水平な場所に一時的に置きます。

4 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

5 プリンターを持ち上げ、アタッチメントの位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

6 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

7 手順 1 で両面プリントユニットを取り外した場合は、両面プリントユニットを取り付けます。

両面プリントユニットの取り付けについて詳しくは、「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.221）をごらんください。

両面プリントユニットの搬送ローラー

1 両面プリントユニットのカバーを開きます。

2 搬送ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。

3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。

8 トラブル シューティング

はじめに

この章では、プリンター使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

設定リストを印刷する

設定リストを印刷し、プリンターが正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ
►	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ * ﾊｲ
＊ メニュー 選択 ↵	設定リストが印刷され「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」の画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンターの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンターは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
トレイ 1 に用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンターの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 100 枚まで排紙できます。100 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）

用紙送りの流れ

プリンター用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1　排紙トレイ

2　イメージングカートリッジ

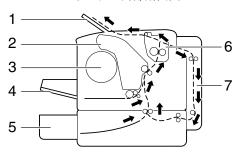
3　トナーカートリッジラック

4　トレイ 1

5　トレイ 2（オプション）

6　定着ユニット

7　両面プリントユニット（オプション）

プリンター内部断面図

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンター内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンター内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

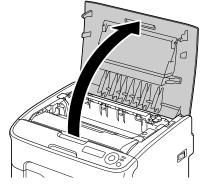
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、プリンターの上カバーの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

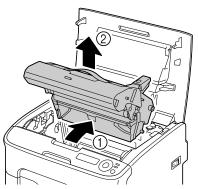
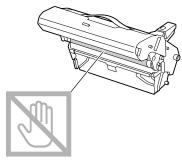
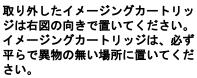
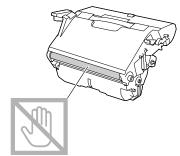
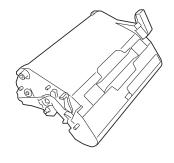
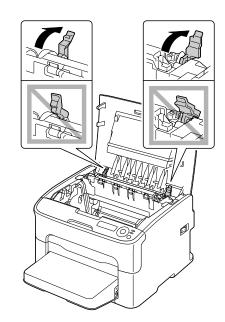
紙づまりメッセージ	参照ページ
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝ ↕（交互に表示） ﾒﾆｭｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 ■ トレイ 1 に用紙がセットされていない場合 ■ トレイ 1 で紙づまりが発生している場合 前者の場合は、トレイ 1 に用紙をセットして［メニュー選択］キーを押してください。 後者の場合は、p. 185 ページをごらんください。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾃｲﾁｬｸ ﾕﾆｯﾄ	p. 178
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊｲｼｭﾂ ﾌﾞ	p. 178
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊﾝｿｳ ﾌﾞ	p. 178
ﾄﾚｲ 2 ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 186
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ	p. 189

プリンター内部での紙づまり処理

1 上カバーを開けます。

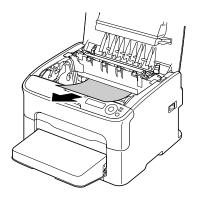
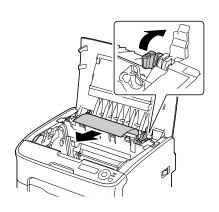
排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

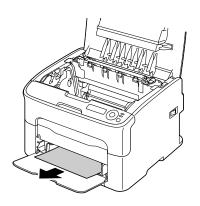
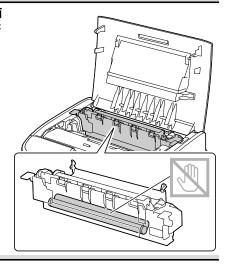
ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

3 左右の定着離間レバーをできるだけ押し上げます。

注意

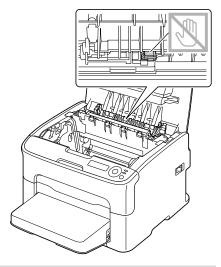
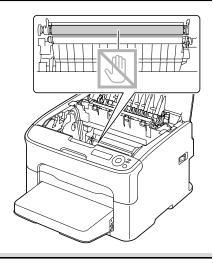
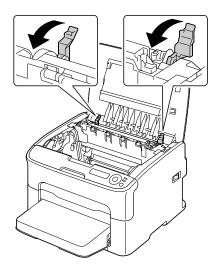
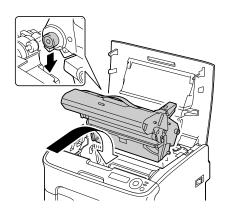
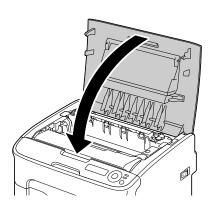
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

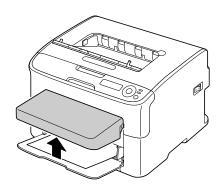
4 つまっている用紙を取り除きます。

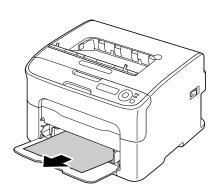
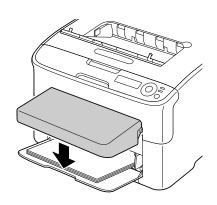
定着ユニット付近で紙づまりが発生している場合、通常は、右のイラストのように定着ユニットの手前方向から用紙を抜き取ってください。

定着ユニットの手前方向から用紙をうまく抜き取れない場合は、定着レバーを持って定着ユニットのカバーを上げ、定着ユニットの奥方向から用紙を抜き取ってください。

トレイ 1 のダストカバーを外して、用紙を抜き取ります。

ご注意

定着ユニットの定着ローラーの表面には触れないように注意してください。

ご注意

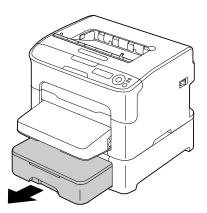
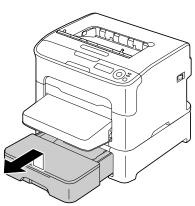
定着ユニットの排紙センサーには触れないように注意してください。

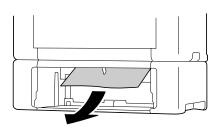
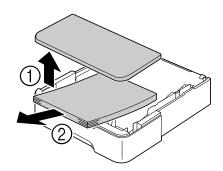
ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

5 左右の定着離間レバーを元の位置に戻します。

6 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

7 上カバーを静かに閉じます。

トレイ 1 での紙づまり処理

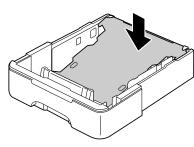
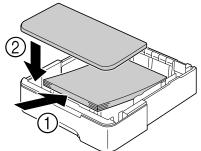
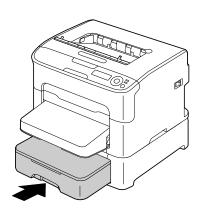
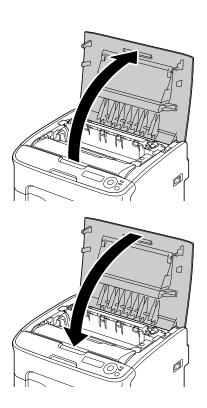
1 ダストカバーを取り外します。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

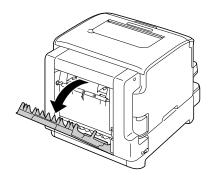
用紙が抜き取れない場合は、無理に引き抜かず、「プリンター内部での紙づまり処理」（p.178）の手順に従って、用紙を取り除いてください。

3 ダストカバーを取り付けます。

4 ［メニュー選択］キーを押します。

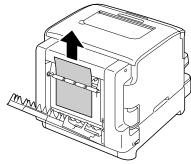
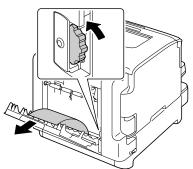
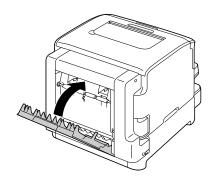
トレイ 2（オプションの給紙ユニット）での紙づまり処理

1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。

2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。

3 つまっている用紙を取り除きます。

必要に応じて、ダストカバーを外してトレイ 1 を閉じてください。

4 トレイ２のふたを取り外し、用紙を取り出します。

5 用紙をさばき、端を揃えます。

6 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

7 トレイ２に用紙をセットし、ふたを取り付けます。

8 トレイ 2 を戻します。

9 上カバーを開閉して装置の状態をリセットします。

両面プリントユニットでの紙づまり処理

1 両面プリントユニットのカバーを開きます。

2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。

用紙は、必ず図に示している方向に引出してください。

下側の通紙口に用紙が詰まっている場合で、用紙の端が少ししか出ていないために用紙を引出せない場合は、用紙が引出せるようになるまで、右にあるダイヤルを矢印の方向に回してください。

3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている	用紙をよくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンターをリセットする必要がある。	上カバーを開閉してリセットしてください。
	プリンター内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、A4 またはレターサイズの普通紙、再生紙のみ両面印刷ができます。プリンタードライバーのプロパティ画面の「装置情報」タブで両面プリントユニットを「あり」に設定し、用紙種類を正しく設定してください。両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		封筒やラベル紙、レターヘッド、はがき、厚紙を両面印刷に使用しないでください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大セット枚数を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	オプションの給紙トレイに不定形紙、厚紙、ラベル紙、封筒、はがき、レターヘッドがセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	ラベル紙が、逆向きにセットされている。	ラベル紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒が正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタをプリンター側にしてセットしてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「給紙ローラーの清掃」（p.153）をごらんください。

その他の問題

症状	原因	処置のしかた
プリンターの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンターの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.226）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾛｰ」が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.226）をごらんください。
設定リストや統計ページが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。

症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙）に設定されている。	特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタードライバーで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンターが節電モードになっている。	プリンターが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	純正ではないトナーカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを取り付けてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタードライバーで用紙の種類が、プリンターにセットされている用紙と合っているか確認してください。
操作パネルのメニューで設定変更が終わらないうちに「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」画面に戻ってしまう	メニュー画面で設定変更中に 2 分間何も選択されていない。	メニュー画面では、2 分経つ前にメニュー項目を選択してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、不適切なプリンタードライバーで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、適切なプリンタードライバーで書き出したフォームファイルを使用してください。
頻繁にプリンターがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面プリントユニットが装着されているか確認してください。
		両面印刷では A4 またはレターサイズの普通紙を使用してください。その他のサイズの普通紙や、厚紙、封筒、ラベル紙、はがき、レターヘッドでは両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされているか確認して下さい。
		プリンタードライバーのプロパティ画面の「装置情報」タブで両面プリントユニットが「あり」に設定されているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	プリンタードライバーの「レイアウト」タブの「印刷種類」で「両面」を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
異常音がする	プリンターが水平に置かれていない。	プリンターを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	プリンター内に異物がある。	プリンターの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
Web ベースのユーティリティーでプリンターにアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	1 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「リファレンスガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーおよび定着ユニットに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
プリンターの日付、時刻が正しく保持されない。	バックアップ電池が寿命です。	販売店または弊社に連絡してください。
メッセージウィンドウに「PORT AUTH ACTIVE」が表示されたままになる。	IEEE802.1X 認証が失敗しています。	「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ/ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ/ｲｰｻﾈｯﾄ/802.1X ﾑｺｳ」から「ﾊｲ」を選択し、設定を確認してください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタードライバーの用紙設定と実際にプリンターにセットされている用紙が合っていない。	プリンターに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンターの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
印刷が薄い	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、レターヘッド、はがきに印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある Printer Printer Printer Printer	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない Printer Printer Printer Printer	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
	プリンターが水平に置かれていない。	プリンターを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.106）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、レターヘッド、はがきに印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類を指定してください。
しみやカスの汚れがある	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく）	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な線が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な現象が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
横方向に線や帯が現れる	プリンターが水平に置かれていない。	プリンターを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればイメージングカートリッジを交換してください。
横方向に等間隔で白薄い横線が現れる	トナーの付着が不均一である。	画像リフレッシュ機能を実行してください。（「ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ / ﾋﾝｼﾂ / ｶﾞ ｿﾞｳ ﾘﾌﾚｯｼｭ」メニューで「ﾊｲ」を選択してください。） 症状が改善されない場合は、販売店もしくは弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾛｰ」または「X ﾄﾅｰ ﾅｼ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	イメージングカートリッジが正しく装着されていない。	イメージングカートリッジを取り出し、再度装着してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンターの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
magicolor1650 STARTING PRINTER	プリンターは起動中です。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
PORT AUTH ACTIVE	IEEE802.1X ポート認証処理中です。	
ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ	プリンターは印刷可能な状態です。	
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷処理中です。	
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	ウォームアップ中です。	
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝﾁｭｳ	プリンターは次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 電源オンの起動時 • 設定変更後の再起動時 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、プリンターの印刷品質を最適に保つために行われます。	
ｼｮｷｶﾁｭｳ	初期化処理中です。	
ｼｮﾘﾁｭｳ	データ処理中です。	
ｼﾞｮﾌﾞｷｬﾝｾﾙ	プリントジョブがキャンセルされています。	
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ	節電機能がはたらいています。節電モードになり動作していない間は、消費電力が少なくなります。	

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾘﾌﾚｯｼｭﾁｭｳ	トナーの付着を調整しています。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。

エラーメッセージ（警告）

メッセージ	意味	処置のしかた
I/C ｻﾞﾝﾘｮｳｼｮｳ	イメージングカートリッジがもうすぐ寿命です。	新しいイメージングカートリッジを準備してください。
I/C ｼﾞｭﾐｮｳ	イメージングカートリッジが寿命です。	イメージングカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、エラーランプ (オレンジ) が点灯し、印刷を停止します。
X ﾄﾅｰ ﾛｰ	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
X ﾒﾓﾘｴﾗｰ	トナーカートリッジのメモリーエラーが発生しました。	表示されている色のトナーカートリッジを取り外して、もう一度セットし直してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
X ﾄﾅｰﾅｼ （印刷可ランプ：点滅、エラーランプ：オフ）	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。 （「ﾋﾝｼﾂ」-「ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」設定で「ｹｲｿﾞｸ」に設定している場合に表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると「X ﾄﾅｰｼﾞｭﾐｮｳ」を表示し、印刷を停止します。
ﾋｾｲｷ X ﾄﾅｰ	X トナーが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。
ﾋﾞﾃﾞｵｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｴﾗｰ	プリンター内部でビデオインターフェースエラーが発生しました。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
ﾄﾚｲ 2 ｵｰﾌﾟﾝ	トレイ 2 が給紙ユニットに取り付いていないか、正しく差し込まれていません。	給紙トレイを給紙ユニットに確実に差し込んでください。
ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼﾅｼ	トレイ 2 に用紙がありません。	トレイ 2 に用紙をセットしてください。
ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝ ↕ (交互に表示) ﾒﾆｭｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイ 1 に用紙がありません。	トレイ 1 に用紙をセットして、［メニュー選択］キーを押してください。

エラーメッセージ（オペレーターコール）

メッセージ	意味	処置のしかた
AIDC ｴﾗｰ	AIDC センサーでエラーが検出されました。	前カバーを開閉してください。自動的に AIDC センサーの清掃が行われます。

メッセージ	意味	処置のしかた
AUTH TIMEOUT	IEEE802.1X ポート認証から自動的にログオフされました。	再度 IEEE802.1X ポート認証を行い、ログオンしてください。
DOWNLOAD IMAGE INVALID	ファームウェアをダウンロード中にエラーが発生しました。	もう一度、ファームウェアのダウンロードを実行してください。
I/C ｼﾞｭﾐｮｳ （印刷可ランプ：オフ、エラーランプ：オン）	イメージングカートリッジが寿命です。	イメージングカートリッジを交換してください。
X ﾄﾅｰｼﾞｭﾐｮｳ	X トナーカートリッジが寿命です。 （「ﾋﾝｼﾂ」-「ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」設定で「ｹｲｿﾞｸ」に設定している場合に表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。
X ﾄﾅｰﾐｿｳﾁｬｸ	X トナーカートリッジが正しく取り付けられていないか、純正ではないトナーカートリッジが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。
X ﾄﾅｰﾅｼ XXXX ﾄﾅｰｦｺｳｶﾝ （印刷可ランプ：オフ、エラーランプ：オン）	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。 （「ﾋﾝｼﾂ」-「ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」設定で「ﾃｲｼ」に設定している場合に表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。 「ﾋﾝｼﾂ」－「ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ」設定で「ｹｲｿﾞｸ」に設定すると、印刷は継続できますが印刷結果は保証されません。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｶﾊﾞｰ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	イメージングカートリッジが取り付けられていません。	イメージングカートリッジを取り付けて下さい。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のイメージングカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのイメージングカートリッジをセットしてください。
	上カバーが開いています。	上カバーを閉じてください。
	前カバーが開いています。	前カバーを閉じてください。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾃｲﾁｬｸ ﾕﾆｯﾄ	定着ユニットで紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊｲｼｭﾂ ﾌﾞ	用紙の排出部で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾊﾝｿｳﾌﾞ	転写ローラーの辺りで紙づまりが起きています。この場合、用紙は排紙口まで進んでいません。	つまった用紙を取り除いてください。
ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ	両面プリントユニットの内部で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ｼｮﾘｴﾗｰ	転写ベルト上に異常画像が検出されました。	シアンまたは黒のトナーカートリッジを確認し、空である場合は交換して下さい。 それでもエラーが解除されない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼｶｸﾆﾝ ［用紙のサイズ］［用紙のタイプ］	プリンタードライバーで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷されました。	トレイ 1 にプリンタードライバーで設定した用紙をセットし、［メニュー選択］キーを押して、用紙のサイズと種類を設定します。
ﾄﾚｲ 2 ｶﾐﾂﾞﾏﾘ	トレイ 2 の給紙部で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼｶｸﾆﾝ ［用紙のサイズ］［用紙のタイプ］	トレイ 2 にプリンタードライバーで指定した用紙サイズがセットされていません。	トレイ 2 を開けて正しいサイズの用紙をセットし、トレイ 2 を戻してください。「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ / ﾖｳｼ / ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ / ﾄﾚｲ 2/ ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ」で正しいサイズの用紙を設定してください。
ﾘｮｳﾒﾝ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	両面プリントユニットのカバーが開いています。	両面プリントユニットのカバーを閉じてください。

サービスメッセージ

このメッセージは、サポートセンターによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、プリンターを再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XXXX	サービスメッセージ内に表示されている“XXXX”のエラーが検出されました。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

オプションの取り付け

はじめに

ご注意

本プリンターは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明
給紙ユニット （トレイ 2）	500 枚給紙トレイ付
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。 両面プリントユニットを装着するには、プリンターにトレイ 2 が装着されている必要があります。
両面プリントユニットおよびアタッチメント	自動で用紙の両面に印刷することができます。 アタッチメントは、プリンターに両面プリントユニットを装着するためのインターフェースユニットです。 取り付けの順番は、最初にアタッチメントを取り付け、次に両面プリントユニットを取り付けます。

ご注意

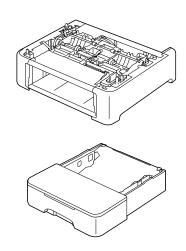
オプションを取り付ける際は、必ずプリンターの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

オプションについて詳しくは、http://printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

給紙ユニット（トレイ 2）の取り付け

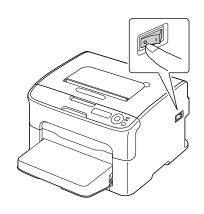
オプションの給紙ユニットを装着すると、給紙容量が増加します。
給紙ユニットは、A4 サイズの普通紙を最大 500 枚セットできます。

給紙ユニットの構成

■ 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

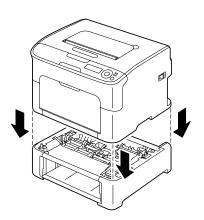
プリンターには消耗品が取り付けられているため、プリンターを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンターを水平にして運んでください。

1 プリンターの電源を切り、全てのケーブルを取り外します。

2 トレイ 1 のダストカバーを取り外します。
トレイ 1 と排紙トレイををたたみます。

3 給紙ユニットを用意します。

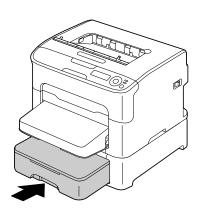
給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

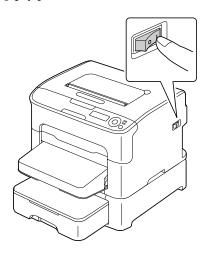
4 プリンターを持ち上げ、給紙ユニットの位置決めピンをプリンターの底の受け穴にあわせ正しくセットします。

警告

プリンターの質量は消耗品を含めて約 15.1kg です。

5 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

6 トレイ 2 に用紙をセットします。
用紙のセット方法は、「トレイ 2（オプションの給紙ユニット）」（p.125）をごらんください。

7 トレイ 2 をプリンターに差し込みます。

8 インターフェースケーブルを接続します。

9 電源ケーブルを接続し、プリンターの電源を入れます。

10 プリンタードライバーのプロパティ画面の「装置情報」タブで給紙ユニット 2 を「あり」に設定します。設定方法については、「プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.32）をごらんください。

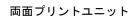
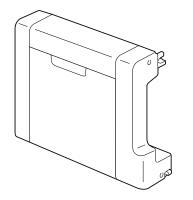
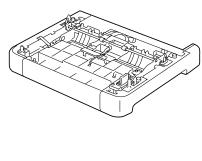
両面プリントユニットの取り付け

両面プリントユニットを装着すると、両面印刷を行うことが可能です。

詳しくは、「両面印刷」（p.128）をごらんください。

両面プリントユニットを取り付けるには、次のいずれかが本機に装着されている必要があります。

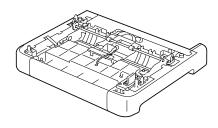
- 給紙ユニット（トレイ 2）
- アタッチメント

両面プリントユニットの構成

アタッチメント

給紙ユニット（トレイ 2）を装着している場合は、アタッチメントを取り付ける必要はありません。この場合は、「アタッチメントの取り付けかた」をとばして、「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.221）に進んでください。

アタッチメントの取り付けかた

アタッチメントを取り付けると、両面プリントユニットを装着できるようになります。

（アタッチメントは単体では使用せず、両面プリントユニットと一緒に使用します）

ご注意

プリンターには消耗品が取り付けられているため、本機を動かすときは、トナーがこぼれないようプリンターを水平にして運んでください。

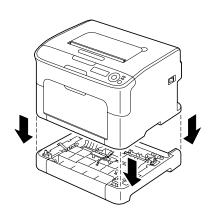
1 プリンターの電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 トレイ 1 のダストカバーを取り外します。
トレイ 1 と排紙トレイををたたみます。

3 アタッチメントを用意します。

アタッチメントは必ず平らな場所に置いてください。

4 プリンターを持ち上げ、アタッチメントの位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

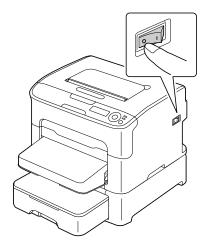
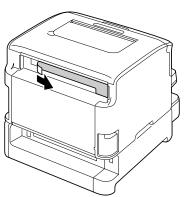
警告

プリンターの質量は消耗品を含めて約 15.1kg です。

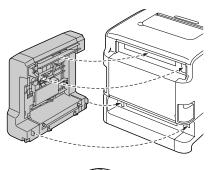
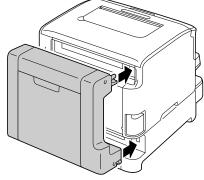
5 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

引き続き、両面プリントユニットを取り付けてください。

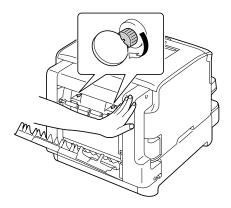
両面プリントユニットの取り付けかた

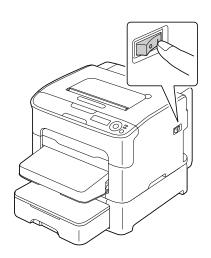
以下の取り付け手順のイラストは、プリンターに給紙ユニット（トレイ 2）を装着した状態のイラストですが、アタッチメントを装着している場合も取り付けの手順は同じです。

1 プリンターの電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 プリンターの背面にはられているテープをはがします。

3 両面プリントユニットを用意します。

4 両面プリントユニットを取り付けます。
両面プリントユニットを装着位置に合わせ、両面プリントユニットの下側をカチっと音がするまで押し込みます。

ご注意

両面プリントユニットの取り付けは、最初にユニット下部の 2 つの爪を取り付け口に差し込んでください。装着位置が合っていないと、両面プリントユニットが破損するおそれがあります。

5 両面プリントユニットのカバーを開けます。
両面プリントユニットを押さえながら、カバー内部のネジを回して、両面プリントユニットの取り付けを完了します。

6 インターフェースケーブルを接続します。

7 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

8 プリンタードライバーのプロパティ画面の「装置情報」タブで両面プリントユニットを「あり」に設定します。設定方法については、「プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.32）をごらんください。

付録

技術仕様

プリンター本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンター
印刷方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
定着方式	熱ローラー方式
解像度	600 dpi × 600 dpi × 4 bit または 600 dpi × 600 dpi × 1 bit
ファーストプリント時間（普通紙）	片面 モノクロ：13.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：22.0 秒（A4、レターの場合） 両面 モノクロ：26.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：35.0 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	片面 モノクロ：20.0 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合） 両面 モノクロ： トレイ 1：8.0 枚／分（A4、レターの場合） トレイ 2：13.2 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 45 秒（室温 23 ℃で電源オンから印刷可になるまでに要する時間）
用紙サイズ	トレイ 1 幅：92 ～ 216 mm 長さ： 普通紙：195 ～ 356 mm 厚紙 1/2：184 ～ 297 mm トレイ 2（オプション） A4

用紙種類	普通紙、再生紙（60 ～ 90 g/m^2） 封筒 厚紙 1（91 ～ 163 g/m^2） 厚紙 2（164 ～ 209 g/m^2） はがき レターヘッド ラベル紙
給紙容量	トレイ 1 普通紙、再生紙：200 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙、レターヘッド：50 枚 トレイ 2（オプション） 普通紙、再生紙：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：100 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：1000 W 以下 モノクロ印刷時：510 W 以下 フルカラー印刷時：470 W 以下 スタンバイ時 ：200 W 以下 節電モード時 ：18.5 W 以下 電源オフ時：0W
消費電流	10 A 以下
ノイズレベル	印刷時：50 dB 以下（モノクロモード）、49 dB 以下（カラーモード） スタンバイ時：29 dB 以下
外形寸法	高さ：275 mm 幅：396 mm 奥行：380 mm
質量	11.9 kg（消耗品：非装着時） 15.1 kg（消耗品：装着時）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX イーサネット

メモリ	256 MB
機械寿命	50,000 ページまたは 5 年のいずれか早い方

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 1,000 ページ（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）： 約 2,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
イメージングカートリッジ	約 45,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

カラープリンターでは、モノクロ印刷・カラー印刷に関わらず、本体の電源のオン／オフに伴う初期化動作やプリント品質保持のための自動調整動作時に、すべてのトナーが微量に消費されます。
モノクロ印刷でご使用になられた場合でも、カラートナーは消耗し交換が必要になります。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には定期交換部品の設定はございません。従いまして該当いたしません。

本プリンターのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンターサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラム対応

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 07 122 019 号

magicolor 1650EN は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

索引

P

S

あ

い

え

ら

り

れ